

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-22))」

2. 日時: 令和5年2月15日(水) 10時30分~10時40分
13時00分~15時05分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他13名

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料サイクルマネージャー 他2名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

炉心・燃料サイクルグループ 主任 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認申請におけるSA関連情報の相関整理」

参考

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 令和5年2月14日
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	旅行しましたと規制庁シミズですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった。
0:00:13	設工認申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:18	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。
0:00:21	あと本庁会議室からコサクタカナシタジリカミデオオハシシミズ。
0:00:29	その他WEBから大川フジワラ、タケダキシノセトガワ。
0:00:35	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割を説明し、また本日説明予定の項目を説明してから、
0:00:46	内容の説明を開始してください。
0:00:53	日本原燃、
0:00:55	大浜でございます。
0:00:56	原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:59	まず事務局から、サトウタカハシイシハラセガワフジノナカハマ。
0:01:08	介護指導関係で、フジノタナカトガシエビナハラダ。
0:01:15	構造概要関係で、市民、
0:01:19	類型分類関係で、タナカ、
0:01:22	そのあと、ニッセイ関係の進め方及び重点事項の個別補足説明資料でございます。十時17、含めまして、ホリグチタマウチ。
0:01:34	以上が参加者となります。
0:01:37	本日のご確認いただきます内容といたしましては、まず最初、介護資料につきまして昨日資料を提出させていただきましたので、
0:01:47	そのあたりの概要説明をさせていただきます。
0:01:50	二つ目がですね、構造概要のS Aの設備のですね、分類の関係のところを説明させていただきたいと思います。
0:02:01	そのあと、昨日、ご提出しまして、本日の午後のヒアリングでも予定してございますけれども、類型分類についての状況を、
0:02:12	よく報告させていただきます。
0:02:15	そのあと、最後にですけれども、通常のヒアリングを含めまして、一斉の進め方と十時17、
0:02:22	のご説明を差し上げたいと思っております。
0:02:27	それではまず最初、介護資料の方からご説明を差し上げます。

0:02:34	はい。日本原燃の藤田です。それでは説明始めさせていただきます。設工認申請の対応状況についてということで昨日、提出した資料になってございます。こちらの
0:02:45	昨日もご説明しておりますので表から変えた点ですね、そこを中心に簡単にご紹介させていただきます。
0:02:51	まずもう2ページ目の目次のところは提示してまして3ページ目ですね。
0:02:57	3ページ目の一番下のところを大きく変えて、
0:03:01	3ページ目の分類結果のところですね、今後と、あと、今後どういうふうにやっていきますけど、
0:03:09	基本、
0:03:10	記載を見直して追加しております。
0:03:13	から、5ページ目ですね、こちらは、
0:03:17	昨日上出さんからあった一番下の5期のところと、エスクリですから、一番下のところで、数字の入れ替えを実施しております。
0:03:25	6ページ目も同様に、数字の入れ替えを実施しました。
0:03:30	それから7ページ目ですね、昨日前のページのところで細かい資料の内訳、欠席の打ち合わせが7ページの方に
0:03:42	はい。
0:03:44	すいません。補足ですけど、
0:03:48	はい。浅野ヒアリングは説明を受けるというよりは、認識合わせをするという場なのであまり細かな説明は要らなくて、
0:04:00	はい。なのでちょっとこちらからコメントしておきますけど、
0:04:06	えっとですね、まず3ページは、最後の下のところに書きましたということは認識の通りと。
0:04:16	ということですけど、
0:04:19	これも前回言ったように分類の考え方はこの文章だけではわからないので、当日はちゃんと内容を説明してくださいねと。
0:04:26	いうところかと思ってます。で、今お話いただいた67ページなんですけど、
0:04:36	こんなコメントしてなくてですね。
0:04:39	ちょっと趣旨が違っちゃってるので、ここ、これは一旦外していただいて、
0:04:47	私のコメントは、次のページで、1ポツと言っていたり、耐震だと1ポツだけなんですけど、

0:04:59	竜巻の方いってもらくと、大本が11ページにあってその次に、今と同じように12ページができちゃってんですけどこれもいらなくて、
0:05:08	言ったのはその次の13ページである1ポツだったり、2-1と、
0:05:15	いってるところその分類の詳細を説明してくださいと。
0:05:20	ということですからちょっと認識がずれたということなので、再整理をしてください。
0:05:31	はい、わかりました。
0:05:35	はい。で、
0:05:37	小崎です。なのでちょっと津議員も同じようなところでのコメントなんですけど、立間キーの13ページ。
0:05:47	これ表題が説明方針ってなってますけど、
0:05:53	この機能説明方針でしかなくて説明は今回できないんですっていうふうに、
0:05:59	言われたんですけど。
0:06:01	最低限の説明はしていただきたいということで、
0:06:07	昨日の資料だと1ポツは少なくとも説明部分あったはず。
0:06:11	です。
0:06:12	なので、そこは説明という形でやってください。
0:06:16	その関係で言うと11ページの1ぽつも緑枠んなってるんですけど、
0:06:23	緑枠だと何が一部なの、残りは何っていう話になってよくわからないのでそこは整理をしてください。
0:06:32	13ページに戻りますけど、
0:06:36	1ポツとしてその点で前回認可を受けたというところで言い尽くしているのか、不足部分があって追加をするのかということの内容として明確にしていただければいいと。
0:06:50	一方で2-1っていうことになると、
0:06:53	ここでもう少し書いてあるようにA B2 B3と、
0:06:57	ということで登場人物が何かということをお話したように、明確にしていく必要があると。
0:07:05	ということです。
0:07:06	その際に、現状だとその説明方針としかなくてよくわからなくて、12ページで、何となく防護対象対策設備、
0:07:20	15基だったり、対象設備、1万4000円とかって書いてあるだけになってるんですけど。

0:07:27	これ妥当ん、一体何ってというのがよくわかんないので、
0:07:33	13 ページ、そん整理するとページ数が変わるとは思いますけど、2-1 の導入として、AはこういうものをBにはこういうものというところをよりわかるように整理をしていただきたいと。
0:07:45	いうところですよ。で、審査会合資料のこのパワポの部分においては、類型整理してですね、屋外のこういう施設だったり、屋内でどう、こういう施設で、建屋で守りますだったり、
0:07:59	ということがわかれば十分なんですけど、一方でその内数にじゃ、この今の1万4000って言ったのがどういうふうになってんのかというのは、補足説明資料で先日出された。
0:08:12	リストをそのままその審査会合に別添の形でつけていただくと。
0:08:18	ということでその数が一体何なのかっていうのもちゃんと会合で説明した形にしていきたいと。
0:08:25	いうふうに思っています。
0:08:28	で、一方2-1についてわあ、今回飛来物防護ネット0ということさらにそのネットについても、なぜか
0:08:39	G10の建屋とのクリアランスの話为例示という、
0:08:44	よくわかりませんが、部分的なものでしかないんで、
0:08:49	今の
0:08:51	リストについてもどこまでダースのか出せるのかといったところはちょっと整理をしていただく必要があろうかと思いますが、大枠としてはそういう形で整理をして今後説明していくという流れにしていきたいと思えます。
0:09:06	そうすると、耐震の本を、そのリストをどうするっていうようなところがあって、この後また、午後にリストの話がある。
0:09:17	だと思えますので、そこを踏まえながら、会合でどこまでやれるかというのを詰めていただければなというふうに思えます。ここまでい良いでしょうか。
0:09:32	日本原燃の藤尾です。はい。わかりました。今、ご指摘あった対応させていただきますと思う。
0:09:41	はい。古作です。よろしく申し上げます。で、
0:09:46	大枠でいうとあとはよくわからないと言った14ページ、これで何が説明したいのってというのがよくわからないんですけど、説明者説明方針を説明したのはわかってんですけど。

0:09:59	これで何が説明できると思ってるのっていうのがよくわかんないんですけどちょっと説明してもらっていいですか。
0:10:10	コサクですこれ藤野さんに言ってもしょうがないと思うので、竜巻の担当者お願いします。
0:10:21	日本原燃の高森でございます。14ページでございますけれども私、
0:10:27	ちょっと作品性の時審査会合で何説明してたかっていうのをちょっと再度確認はし、いたしまして、コンセプトとか大分の構造とかそういったものを中心に説明しておりました。
0:10:38	それを踏まえましてちょっと時点で見ただけでですねちょっと14の線。
0:10:43	右下見てもらえば、後の概要っていうのを見ていただければわかるかと思いますが、防護板と言いつつですね一型高で設置したようなものがございましたのでちょっとこれ特殊構造かなということで、これをちょっと説明していく必要があるかなと考えてちょっとこちらの方、
0:11:01	表現させていただきました。ただちょっとその、何を説明したいかがちゃんこの、
0:11:07	すいません、パワーポイントに表れてるかっていう再度見直すとちょっとそういった表現にはなってなかったかなとちょっと今考えているところでございます以上です。
0:11:18	はい。補足です。これもうて、
0:11:22	設備じゃない共通中にですかね、いうところで、どういう要求が何でそれに対しての説明としてどういうのが必要かという話を、
0:11:33	具体話をしてくると思いますので、素行、
0:11:38	との関係で
0:11:41	整理をしていただければと思います。で、
0:11:46	特に審査会合なの清補足説明資料の抜粋っていうような作り方をする必要は全くなくて、
0:11:54	そこで整理をした趣旨を踏まえて、ポイントが明確になるように書いていただくと。
0:11:59	いうことが必要だと思います。
0:12:02	で、ここを説明するんであれば、耐震の方での相互影響なりで、要求がかかって、それを防ぐように設計しますというような話があるんでしようし、
0:12:15	上流要求の書き方っていうのが非常に、
0:12:19	何か杓子定規に書いててわからないと。

0:12:22	ということじゃないかなというふうに思いますので、ちょっと内容のヒアリングにもなっちゃうので、今後の場を少し整理をして対応いただければと思います。
0:12:38	はい。日本原燃の高森でございます二つおっしゃられた通りですね共通12をちょっと持ってくるというところにちょっとこだわり過ぎたかなとちょっと思ったりもしておりますのでちょっと適切に、
0:12:50	このページ見直していきたいと思います以上です。
0:12:55	はい。補足ですと言いつつ、この資料をいつまで2、
0:13:00	修正して出すんだっていうようなところもあるので、今日通常に全体をというよりはどう、
0:13:07	どういう視点で見ていく必要があるのか変えていく必要があるのかと、いうことを踏まえて、
0:13:13	そのポイントが会合資料のこのページでわかるようにし、することで作業をまずは進めていただければと思います。
0:13:24	すいません。カミデです。ちょっと確認なんですけど中身で中身だったんで、14ページの、
0:13:30	G. の
0:13:33	計画等の
0:13:36	学校と、
0:13:37	竜巻防護ネットの学校と、非常用定検建屋って、
0:13:42	評価上物変わるんですか、その竜巻評価上後は、耐震評価上ってあるんですけど、電源建屋と、
0:13:50	学校っていうのは変化完全に綺麗とか一部ぶつかるっていう想定で設計してとか、どうなりましたっけ。
0:14:07	日本原燃の坂部でございます。とですね地震時の揺れを考慮して、非常用電源建屋とG. 竜巻ぶつからないようにクリアランスを確保するというので設計の方をしてございます。以上です。
0:14:20	はい。規制庁深見です。
0:14:23	竜巻
0:14:24	もう田崎の風荷重とかも温度実装ってことで、
0:14:30	兵庫県のサカモリはすいません竜巻も同じ思想でございます。以上です。
0:14:35	はい、店長川満わかりました。
0:14:38	そうすると、
0:14:40	何、何が第1回からの差分なっただって、

0:14:45	事故を5番と呼んでることだけがなんか、多分、
0:14:51	実際になっているような感じもしますけど、差分として何を説明するかを整理して、記載してもらえればと思います。とりあえず、
0:15:02	聞きたいところは聞きました。
0:15:05	コサクですそれで雄踏、これを本当に介護で説明するのかどうかよくわかりませんが、clear今ぶつからないようにクリアランスを持たせるという意味であれば、
0:15:16	クリアランスを埋めるために本設置だと思う。
0:15:19	理解ができなくなっちゃうんですよ。
0:15:21	適切なクリアランスを設け、設けるようにするという設計方針であって、
0:15:27	それをどういうふうにごう造で担保してるかと、いうことの説明が必要ということですから根本的に説明の仕方がおかしいと。
0:15:37	いうふうに思ってます。
0:15:44	はい。日本原燃のサカモリでございます。まさしくおっしゃる通りだと思っておりますクリアランスを確保するといふときつつクリアランスを見ると、ちょっと矛盾した表現しておりますので、ちょっと表現の方適切に見直していきたいと思ひます。以上です。
0:15:59	はい。
0:16:00	カミデず、多分、基本思想は、ぶつからないように、
0:16:08	それぞれクリアランスを確保するんだけど、秋過ぎても駄目だよねっていうところがあつてそのバランス取りに行きましたっていうのがどちかかっていうと時点の
0:16:19	貴重な気がしていきました。はい。
0:16:26	日本原燃のサカモリでごめんなさい。上出さんがおっしゃっていただいた通りですねクリア確保しすぎるとそつから設計へ飛び込んで冷却塔にぶつかるというコースができてしまうので、そういうコースを潰しつづぶつからないように、
0:16:40	防護いったを設置していくということでございます以上です。
0:16:45	コサクですその上この後と言ひましたけど、審査会合でそういう議論が主体ということて提示をするのか、こういう形で説明ができますという例示で、
0:16:57	説明したいのか。
0:16:58	後者であれば、ある程度納得感のある、

0:17:02	わかりやすい平時の方がいいんじゃないのかっていう気もしますので、どちらにしたいのかをまず整理をして欲しいんですけど。
0:17:11	原燃で今持っているのってどっちなんですか。
0:17:15	はい。稲毛イシハラでございます。教育従事で説明したいことも含めると、後者です。こういうことを着眼点論他のか観点として明確にして、
0:17:26	それを達成するための構造を説明していくというストーリーというか、道筋を、今回説明をさせていただきたいということでございます。
0:17:36	はい。補足です。であればそれにそうした例示をしていただけたらいいかなと思いますのでその点も含めて、検討して状況を連絡いただければと思います。
0:17:50	はい、日本原燃石田でございます。今言われたところが正しく出しておいて恐縮ですけど、共通中に根本的に足りてないところ、隙間が埋まってないところだと思ってまして。
0:18:03	何をやりたいのかっていうところをちゃんとターゲットを明確にして、要求事項に紐づく設計方針を変えてその設計方針を達成するっていう観点で、
0:18:15	こういう構造を、にしていますということでそれが達成できてるかどうかちゃんとわかるような構造を説明するということが必要なことだと思いますので、この資料でまずはちゃんとそういうことの繋がりもわかるようにさせていただきます。以上です。
0:18:32	はい。コサクです。よろしく願います。どうぞ。規制庁の谷です。今のお話っていうのは今建屋の隙間の事故の話为例示で書かれたんですけど、
0:18:43	別の例だけを書くっていう話なのか、今後説明する項目ってこういう形でありますよって列挙した上で、例えばこいつに関してはこういう図をつけようと思ってますっていう話を書こうとしてるかっていうと、とりあえず1個だけ。
0:18:55	今後説明する内容のうちの1個だけ名前が出てくる感じですかね。
0:19:08	お開き。はい、日本石田でございます。はい例示として、これを選ぶかもしくは先ほどの考え方に基づいて説明をするというときに、より適切なものがあればそちらを選んで、例示として説明をさせていただこうと思ってました。以上です。
0:19:25	規制庁田尻です。そういった意味でいうと共通12のホームなんですけど先ほど言われた結局目的意識がよくわからん形になっていて、今回時点のネットの形でネットについて言うと、近くに建屋があったり、地盤と

	の関係でちょっと基本的にネットといった組み合わせながら頑張りますよっていう方針は変わらないんですけど、
0:19:43	その形状とかが変わる形になったり、建屋の関係で隙間が内在して、ちょっと後板のつけ方とかも変わりますよね話があったり、つけられるネットの大きさとかが違うので、
0:19:54	枠付けのネットをつけるって言ってもその指示の方法とかが違ったりとかってというのがそれぞれの違いなんだと思うんですけど、そういう方で違うところはこういうところにあるんですよ。で、例えば、こういったところについてはこう説明してきますよっていうのを言ってもらえれば今後そういう説明があるんでって形になるんですけど。
0:20:10	だから、これも今 14 ページ見ると構造上の違いっていうのも先ほど指摘もあったと思うんですけど、何言いたいのかよくわからん形の話があって、なぜこれが生じるのかもよくわからん形で書かれて急に津崎がっていう形になってるので、
0:20:23	要は違いって大枠でこういうものが違うんですよだからこういう差分を説明しようと思ってるんですよ、で例示これですっていうふうに言ってもらえれば、次回以降その例示について具体的に説明があるのかってというのが何かわかる気はするので、
0:20:35	その点を多少意識していただけると、共通 12 も含めて、助かります。
0:20:45	はい。日本原燃のサカモリでございます G T の構造上の違いですね他、いろいろございますのでそういうのばくっと前いろいろ述べた後で例示としてこういうのを示すという形でちょっと資料の方を修正していきたいと思えます。以上です。
0:21:01	はい。規制庁丹治ですよろしくお願ひします差分を全部列記を細々くても列挙してもわかりづらいただけないので、何社が生じるかの考え方言ってもらえれば、
0:21:11	多少の違いは全部そこにぶら下がると思うのでよろしくお願ひします。あと、それちょっと、少しだけさかのぼってたんですけど、この後午後んところ設備分類のヒアリングするんでその時に詰めますけど、
0:21:23	現状対シーン等、田崎の十分じゃないんですけど、
0:21:27	何か数が、どことどこが一緒になるのか全然わからん気はしているので、ここのヒアリングのところでも詳細に説明できるように例えば新規に設置するものであれば、
0:21:38	耐震だろうが竜巻だろうが母集団一緒じゃないのかっていう気がするんですけど。

0:21:42	どことどこを足し合わせたら同じ数になるのかもわからないので、その辺りも確認したいと思うので準備のほどよろしく願います。
0:21:52	はい。日本原電タナカそのような差分のところをご説明できるちょっと準備いたしたいと思います。
0:22:05	規制庁、清水です。規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:22:16	なければ、次の説明をお願いします。
0:22:32	すいません少々お待ちください。
0:22:37	第9表現年シミズです。
0:22:40	まず昨日の朝のご説明の中で、構造概要につきましてまず、SAの分、昨日提示させていただくというお話させていただいてたんですけども、
0:22:51	朝のヒアリングであったり、午後の重大事故のヒアリングの中で、我々のちょっと分類の整理の方がちょっとうまくできてないということもありまして、ちょっと資料出せてない状況になっております。申し訳ありません。
0:23:05	ちょっと今、昨日の午後の日を踏まえてどう整理しようとしてるのかという点について、簡単にちょっとご説明させていただきたいと思います。
0:23:19	はい。日本峰社でございます。すいません本来であれば、名護に説明をさせたかったところですが、両体調不良で、
0:23:29	休んでますので、昨日、関係者集まって話をして、こういう着眼点でいろいろパーツを出して、
0:23:40	どれに当てはまるかと、いうことを、
0:23:43	整理していったらいいんじゃないかと、いうことをやっていたらいろいろ頭を回転させてお腹が痛くなってしまったそうです。
0:23:52	COCOコードっていう意味では常設、可搬っていうものの、常設については建物だったり聞きたいし、機器配管だったりとかで聞きに行くと耐震側の分類が定式が出れば9分類あり、あとFEMが、あと配管であればKPとか出してみたいなやつがある。
0:24:09	一般の可搬でいくと、動的静的、それぞれの分類っていうのがあるんじゃないかと、いうこと、あとこれは構造関係ですけどそれ以外にはSAの機能としての分類みたいなものも、
0:24:21	あるんじゃないかなということでSAで今評価している機能評価みたいなものですね要領とか供給量とか除熱とか、いろんなものがありますけどそれで構造分類に構造的なものに、

0:24:33	影響を与えるような石井がどれかというのを抽出して一つの横軸にしていくと。
0:24:39	あと外傷関係でいくと建物の中にあるか外にあるか、そこにあるものについては固縛をするのかしないのかみたいな分類をですね、それぞれ書いていって、縦軸に設備を並べてどこにそれが当てはまるのかと。
0:24:53	いうことを、整理をしていって、それぞれの分類の中で、必ず何か代表が1個選ばれるような話、ダブルでかこの場がつくものは、
0:25:04	共通的になるかもしれませんがそういう整理をしていったらどうかなというのを、関係者で昨日議論をしていたところでした。こういう着眼底をもうちょっと広げていかないといけないかなと思いつつも、まずは手始めに整理をしていくというのも、
0:25:19	ではないかなというのが、昨日の段階での話でした。以上です。
0:25:28	規制庁清水です。規制庁はパックにございましたらお願いします。
0:25:36	コサクですけど。
0:25:39	中尾さんがいないところでは、どれだけ話をした、していいのかわりとよくわかりませんが、
0:25:47	何か耐震のことしか意識してなさそうな、
0:25:51	図になってて、
0:25:53	ちょっと言い過ぎですね、耐震を中心に思っていて、
0:25:57	A S営農関係っていうのが端に置かれちゃってるんですけど、
0:26:04	それで本当に瀬、
0:26:06	構造設計としての考えとして体系、十分整えられるのかわかっていうのがちょっとよくわかりません。
0:26:19	やっぱりS Aの一番最初は、系統設計どこにどういうものを配置するかと。
0:26:28	いうことが一番大事であって、
0:26:33	その中で、
0:26:35	耐震設計をしていくと、いうことじゃないかなと思いますので、その
0:26:43	何ていうんすかね。入れ子構造のどっちを主にしてとかって言ったところの考えとかを、
0:26:49	もう少し整理をして、
0:26:52	その上でこういう分類、軟化症小分類ですかね。
0:26:57	の考えで整理をしていきますということを聞かせいただければいいかなと思います。
0:27:07	はい。日本円者でございますはい。そういうこと。

0:27:12	やらせますっていうのが多分私の言い方。はい。そういう観点でやれるように、導いていきたいと思います昨日も私もそういう観点がついていうのがあったんですけど全体眺めてみてそういう。
0:27:26	視点で何か分類額がないのかという、1と配置とかです機能とだとか、何の、なんだ、影響緩和じゃないですけど放出系の経路としての、
0:27:38	どういう配置にしていくんだみたいなのも含めて、何かキーポイントがあるんじゃないかという話はしたんですがなかなかちょっと出てこなくてですね、その着眼点も入れたいと思います。リレーさせたいと思います。以上です。
0:27:54	カミデです。
0:27:56	ちょっと聞きたいのが、これ何の書類を説明する。
0:28:02	ための目的で整理されてるのかなっていうのは、一応聞きたくて。
0:28:08	耐震でいうと耐震計算書ですって言われれば、言われれば今黄色のところで、
0:28:13	あとはDB兼用だとか条件だつてファクターが入れば耐震計算書の見方っていう意味では回答になるんですけど、そ、多分それから、それが目的ではなくて、
0:28:25	健全性説明書とか、構造図だったり廃血だったらいいと思うんですけどその辺の書類、どういう書類を見ていくためのものを整理したいかってイメージあります。
0:28:38	はい。日本原燃石原でございます。はい。まさしく素行の立ち位置が、おかしくない。おかしいとかぼやけというのが先ほど古作さんからのご指摘であり、
0:28:49	神谷さんの今、何をやりたいんだみたいな話には繋がっていると思います。実際共通順位の中で、構造として、どういうポイントで累計をして、構造を示し、
0:29:03	あとはそれぞれ必要なところに、
0:29:07	何ですかねこういう観点での情報を渡すという、橋渡しをするための資料としての形を作っていく構成を考えていきたいっていうのが目的ではあります。
0:29:19	それで、キックはもともと何が20万の過程は重大事故なので、重大事故としての機能があり、重大事故に渡すところは重大事故が自分で受けますし、
0:29:29	耐震の構造Aでは、耐震側にこういう構造のものがあるよということ、情報とともに引き渡すということをしたいなと思ってたのが、もと

	もとのお考えでしたので、目的に沿った形になるように、もうちょっと議論をして、深めていきたいと思います。以上です。
0:29:49	はい。カミデズよろしくお願いします目標からちょっと整理してもらって、その結果耐震で何か話があったらいいというのではもう全然話聞いてますんで。はい。よろしくお願いします
0:30:04	古作です。耐震には耐震のニノイチがあるはず。あまり
0:30:12	重大事故のところでそこまで踏み込んで頑張る必要もないかなと思います。耐震の2-1に引き継げるように、どういうものかというのが、
0:30:24	登場人物でこの耐震のその縦軸に書いてあるようなやつ、どのあたりのものなのかなってというのがわかれば、
0:30:31	十分ということ、
0:30:34	支店には置いときつつも、どれだけのものにしていくかっていうところで、また相談をしていただければと。
0:30:42	思ってます。
0:30:48	はい、二本木石田でございますはい。周知しました。はい。
0:30:59	計画性とタカナシ全体としての今製品の状況とか考え方については一応今この図で示していただいたと思うんですけども具体的にそのSEの方の
0:31:11	資料の資料への反映っていうんすかね。12ですか、その反映ってのが、今検討中です。
0:31:17	一旦ですけどそれどれぐらいのスケジュール感とかイメージを今は立ってるでしょうか。
0:31:27	はい。2上西家でございます。はい恐縮でございますお腹が痛いのは直で出てくるタイミングを計って考えないと私も私が作るわけじゃないので、もう1個もないので、
0:31:39	別途、ご報告しますすいません。はい。
0:31:43	制度とあわせて失礼しましたそれではそのようにお願いいたします。
0:31:47	規制庁の谷です。ちなみに今SAとしての共通12の話があったんですけど、全体として共通中になってどう進めていこうとしてるんだっけ性だけが行くんでしたっけ、なんか。
0:31:58	竜巻もなんか中途半端な状態だし、溢水とかもう名前は載ってるけどみたいな感じでずっとってはいるんですけど、あれって、どっかのタイミングでまとめてヒアリングしようとしてるのかなと思ってたんですけど。

0:32:09	今後の方針っていうか、考えを、
0:32:13	はい、江藤日本限定シミズです。
0:32:16	はい今、昨日ちょっとお話ししていただいた通り、今週末に、外部衝撃の申請書の残りの分と、
0:32:26	溢水の部分をちょっとリバイスしたものをちょっと出してヒアリングを設定しようとして今考えていたんですけども、ちょっと今、の、ちょっと朝のお話を踏まえると、ちょっと今出している資料も、
0:32:39	まだ今一致パイロットケースになりきれてないというようなご指摘なのかなというの踏まえてちょっと、
0:32:47	わかりました。
0:32:49	もう、もう大枠の目次。あ、わかりました。すみません。ですね。
0:32:56	わかってるはずが、すみません。とですね、まずはそれぞれの今分類したのに対してどういうものを分担して、大きな目的としてどういう構成で整理しようとしてるのかっていうのを、
0:33:11	速やかにと整理して資料の方を出した上で、朝のミーティングの中で、こういう全体の枠組みで整理させていただきたいということをご説明させていただき、
0:33:23	ライド思いが、
0:33:27	日本原燃車です。さっぱり何を言ってるかよくわかんなくなっちゃったので、今清水が言ったのは共通12としての、先ほどから議論の目的とか、
0:33:38	全体の構成をどうするかって頭のところで、甲斐が考えているのでそこがまだすっきりしてないっていうことを言ってたんですけど、パーツとしてはでき上がってるものが順次出てきますので、
0:33:49	外傷であればGTG以外のやつは一体どうなってるんでは17。
0:33:54	2は提出できるように今準備をしてますのでそういうものを順次パーツとして足して、ただ、その時に何人のパーツがいつ出るんだっていうのも併せて提示をさせていただきますので、そういう形で資料を順次
0:34:10	追加をして、提出をさせていただきたいと思います。以上です。
0:34:15	規制庁鳥居です。順次資料を出されるということはわかったんですけど、これっていうのは、その出された次のタイミングぐらいの朝のヒアリングとかで随時何かやりとりをしていけばいいんですかね何か。
0:34:27	いつもちょっと中身に対してそこまで踏み込まないような形で先にやっているんで、どこで中美伊ポンプ話をしていくのかどうかよくわかってなくて線引がよくわからなくなってます。

0:34:38	はい。
0:34:39	二本木西田でございます。やらしていただきたいと思いますヒアリング、朝だと中身の話までやっている就多分時間もあれだと思うので、
0:34:51	こちらの事務局、読み方からですね調整をさせていただいてヒアリングを設定させていただきたいと思います。どういう構成にしようとしてるかとかどういう順番で物を出そうとしてるかとか、何が今後出てくるんだみたいな話は、
0:35:07	後のミーティングでさせていただきますが中身の話を、別途設計をさせていただければと思います。以上です。
0:35:15	はい。規制庁谷井です今日この後矢部清みたい連続でって別に構わないですし、よくその資料作って、今後何をしようとしてるかの話がずっと多分中途半端になってる気がするんでそのあたりの話も合わせていければと思ってるのでよろしくお願ひします。
0:35:33	はい。日本原燃志水です。了解いたしました。
0:35:38	規制庁シミズほか、規制庁側から作品でございますでしょうか。
0:35:46	ければ、
0:35:53	はい。日本原燃田仲です。それでは類型分類の作業状況についてご説明いたします。午後にですね数字の話とかヒアリングがセットされてるといふことでもありますので、昨日提出させていただいた資料の中で、
0:36:07	重立った変更点を中心にご説明させていただきたいと思ひます。
0:36:12	で、
0:36:13	今回、大きく変わったところ数字のところは午後扱うとして、それ以外のところと言ひますとちょっとページは飛ぶのですが、27 ページのところを、
0:36:23	お開きいただきたいんですけども、
0:36:27	グラフだけ
0:36:28	資料も
0:36:30	はい。
0:36:31	B I 事業部会でこちらの方で言うとして、昨日まで提出させていただいた分類。
0:36:38	委員のですね、工事のフラグが立っていなかったというリストなんですけども、こちらの方に、工事の有無と工事の内容というのがわかるように、
0:36:48	歩道六条で言えば、B1、1に、工事の有無、

0:36:54	のフラグ立てができるようなリストに変えたというのと、33条の方ですとBの方のリストで、工事の有無と工事の内容がわかるような構成に、
0:37:05	リストの方を見直して、添付しているというような状況でございます。はい。
0:37:11	今回変更した点としましては以上、主な変更点は以上になります。
0:37:17	ちょっととりあえず今のっていうのは例えば46ページの下の方にあつて、工事の部分と丸つけてどんな工事ですよっていうのを簡単に書くようにしましたっっちゃう話だけども、
0:37:33	はい、日本原燃田中です。今、46、D、
0:37:37	ちょっとおっしゃいましたでしょうか。はい。言ったつもりですか。規制庁丹治です。
0:37:43	あれ違いました。はい。
0:37:45	下、46人減タナカです。46ページもそのように今回、
0:37:51	情報を追加したシートになっておりますので、そのように対応しており、
0:37:54	全体です。単に横判ところで見てもわかりづらかったんで、そういうふうに変えてるってことですよっていう確認だったんで、他の変更点は特になんかなくていいですか。
0:38:05	はい。日本原燃の中です。はい追加したのはこの2列になります。
0:38:14	生協上出です。中身というか、設備リストと照合して合っていないよとかかっていう話をこうこうと思ってるんですけど。
0:38:24	今あった
0:38:27	工事のフラグを立てましたと言っているんですけど、
0:38:31	多分耐震だと耐震補強。
0:38:36	補強みたいなもの
0:38:38	で、
0:38:39	やっぱりその堂々とかっていうのは、液状化評価をしているじゃないですか、既認可ではやってない評価をしていて、それはそれで、
0:38:50	説明項目だと思っていて、そういうものをまたまとまりを説明して、
0:38:57	まとまりを説明した上で中身を説明していくと。
0:39:01	というのがそちらの方針だと思うんですけど、今の拾い上げだけだとそういう審査指針、説明の進め方に資する、
0:39:12	リストになってないと思うんですけど、どう考えてますか。
0:39:21	はい。日本原燃の永瀬今おっしゃっていただいた通りそういう意味でいうと、地下水排水のいうところにつきましては工事をやってるかどうか

	かたそういうところまでしかちょっと今記載できてないところになって、
0:39:34	今後の審査でどういうふうの説明していくかというところがちょっと明確にリンクはられるところまでの情報は確かに不足してるところがあるかなというふうな認識をしました。はい。
0:39:47	牧。
0:39:50	で、
0:39:51	でも、会合で明らかにするのは、そういうことなんですよ。関心は終わりましたと言って、説明するつもりだと思うんですけど、どうするんですか。
0:40:09	不安。
0:40:11	はい。
0:40:13	そうかもしれません。
0:40:17	規制庁館ですけど、開放で何までできたというそうしてるかもちょっとよくわかってないんですけど、今回、AとBからB4までの分類しましたはいいんですけど、
0:40:27	そこだけでそのあとに全部繋がるかっていうとそうではなくて、今、それぞれ道からビデオとかのところで防護対象ですよと、防護対策ですよといろいろ書いてはいるんですけど、
0:40:37	でも結局、そのあとにさらに種類の分類ちゅうのが全部形なんですけどそこは、今回までの説明しきれたって、今の表のところにさらに追求していこうと思ってますっていう話なのか。
0:40:48	今回の時点でこの表は完成しましたっていう話で持っていこうとしてるかで、
0:40:53	何まで聞くかが決まるんですけど。
0:40:59	はい。日本原燃石原でございます。はい。今回お出しをしているものは、まずは、各基本設計方針なり、
0:41:11	手法として扱うものの分類を明確にすること、あと2-1のところ、工事の案件の有無を明らかにすること、
0:41:25	そこの工事というのが、実際おっしゃっていただいている通り、設備に着目して設備自体の改造をしたと、いうことの工事を今ピックアップしている状態です。
0:41:38	2-2 経由とか2-1、2-2 か、2-2 の評価での観点でのファクターみたいなものも含めて、
0:41:49	何らかの

0:41:53	作業なり、工事なりを実施するものってというのが全部入り切っているかっていうとそれは順次出していくということを前提に考えておりましたということでございます。ただ
0:42:05	場合は先ほど神さんから言われたものはどちらかというと市の設計方針のところ例えば地盤改良みたいなものはしたのであればそれを考慮するとかですね。
0:42:16	地下水排水設備の関係のものもいろんな観点で地下水位を考慮した上で、必要な地盤の特性を考慮してみたいなところでそこに、
0:42:26	何らかの工事が発生するというものまでは、正直言え切れてないのが実態でございます。以上です。
0:42:34	規制庁谷です。ちょっと認識確認しておきたいんですけど、例えば会合資料でいうと、青枠囲いと緑枠囲いがあって、申請対象設備のところ青枠が書かれていて1ポツ2ポツはみどりアップって当然なってるんですけど、
0:42:47	今の話っちゃうのは申請対象設備のその手法となるとかって言い方だったらわかるけどそういうやつのところDはやりましてっていうので一応枠だけど、そこをどういうふうに、評価というのかな、関連でどう整理するかどうかも含めて、
0:43:02	具体的話を1ポツ2ポツの絡みだっちゃう話なんですけど、いや1ポツ2ポツ、説明する上での前提条件みたいな形なんで、小集団までの説明までは今回やれそうだけど、そっから先についてはともやる予定ですよ。だから表に関しても、
0:43:16	その部分まで今回説明できる部分までやったけど、追記がされていくんですってこと。
0:43:24	はい。二本木西原でございます。はい。今大枠の数字を書いております。その内数であったり、所、2-1-2を考えたときの、
0:43:38	関連する募集、母集団の中での
0:43:43	それに該当するものをどうピックアップしていくかということについては、これ順次設計方針を考えながら出していく必要があると。
0:43:53	ということでまずは母集団のところをまず明らかにした、したというのが現状認識だと思います。
0:44:03	おっしゃっていただいたものの中で個人的に思っているのは、例えば耐震でいけば、既認可の変更点という意味でいくと別に改造設備を改造しただけではなくて、

0:44:15	いわゆるモデルを変更したものとかですねそういった評価の観点での変更点みたいのも、それが全体像として何が母集団なのかみたいのも明らかにしていけないといけないと思いますので、
0:44:27	そういうものを、順次、
0:44:29	出していくということかと思ってました。以上です。
0:44:34	規制庁谷です。多分、ワーッていないものはできないですと、今回、このリストが一応会報にも乗っかってると思うんですけど、
0:44:45	ここのリストの位置付けみたいのって何か書かれるんですけど。要は、何ができるよ毎回毎回乗っかるために何かリストのは、が更新されて、見栄え変わるわけじゃないですか。
0:44:57	それが前置きされてるんだったらまだ変わるんだなって思うんですけど、何かあれセットだったんじゃないのってやつがどンドンまた変わるとよくわからなくなっていくんですけど。
0:45:09	古作です。付ける場合はそういうことを書いてくださいってことだと思いますし、そういうふうにするのであれば、列を追加をしてこういうところにこういうものを変えていきますという方針として説明する。
0:45:23	ということなのか、そもそも表分けるということで、表の項目で代表がわかるようにするということなのか。
0:45:31	そこら辺の方針を整理をして説明いただくってことじゃないかなと思いますけどいかがでしょう。
0:45:39	はい。日本原燃石田でございますはい。現状の立ち位置とあと今後自分たちでやりたい、やろうとしていることが明確になるように、
0:45:49	記載をさせていただきます。はい。
0:46:03	何が。
0:46:10	古作です。今のリストって、私からする等、審査会合の申請対象設備ということでは、本当はなくて、先ほど言ったように1ポツ2-1とかの、
0:46:21	話なので、継続っていう古藤じゃないかなと。
0:46:26	思っていたんです。
0:46:28	なのでその部分の説明に於いて、このリストが完成すると。
0:46:33	いうことかなあとあって、石原さんのその作業の進め方からすると、そういうことになるんだろうなと。
0:46:41	思って。
0:46:42	います。で、その集合体が結局申請対象設備の枠。
0:46:47	の説明にもなると。

0:46:50	言う古藤なんですけど。
0:46:53	五つ数字は書いてあるので何らかの説明をというところで、
0:47:04	今後整理をする部分はあるけどという断り書きで押して提示いただくということかと思います。
0:47:15	はい、人間で志田でございます承知しました。
0:47:24	はい、規制庁という攻め一遍聞き忘れたんですけど、あれ会合資料の、今の話も含めて使い方資料の修正もあって結局言ってもらえるんですけど。
0:47:39	はい。三明電車でございます。
0:47:42	今日の夕方、
0:47:45	あれ我々と、
0:47:51	なんかは頭がおかしい。
0:47:54	でも今日水曜日だよ。そうです。
0:47:57	介護火曜日だよ。
0:47:59	そうだよ。
0:48:00	はい。教授立教出します。はい。
0:48:03	規制庁、館です。資料の提出ができるかどうかわかんないけど明日の朝のヒアリングの時点では、こんな方向でも直してますよってという説明ができる状態じゃなくてそうと思えばいいですかね。
0:48:17	はい。いうメジャーでございます。ありがとうございますそうさせていただきます。はい。
0:48:22	聞いた。
0:48:28	規制庁清水です。他は規制庁側から特にございますでしょうか。
0:48:37	よろしければ、
0:48:38	今、
0:48:39	次の説明をお願いします。
0:48:47	保険のホリグチです。では、
0:48:49	衛星の進め方について説明をいたします。画面をゆさせていただいています。昨日の朝ミーティングでも、
0:48:59	これに似たようなものでその資料を加筆して、
0:49:03	いるものになります。
0:49:06	いただきました。SE部SEの部分に関して、DBと同時に説明するもの、日々のインプットとなる部分に関して、異物としては緑色、

0:49:18	もちろん緑色にしていますそしてSA単独で説明しているものとして、紫色。
0:49:25	をつけております。左側の0、申請対象設備から1ポツの設計状況及び評価判断基準に行きまして、ここで資料としては共通00、蒸発乾固ってことで例として蒸発乾固後はこの中に、
0:49:43	下の2-2とか10時は1点で36条と蒸発乾固の39条、代表例としてここに関して書き入れておりますが、36条に関しては環境条件のうち、1ポツのところですけど3、
0:49:57	36条の環境条件のところの脳荷重として竜巻、火山、外部火災推薬費等ありまして、この部分は、
0:50:05	それぞれの荷重に対してのDBがあって、
0:50:10	考えている評価に、インプットとして与える部分共通して評価をする部分がありますので緑色、そして、各自この個別条文の設計条件でCTI別紙2に関しては紫色と接して単独で説明できるものだと考えています。
0:50:27	そして2-1のシステム設計や構造設計等というところに入りまして、
0:50:32	衛星の全体的な系統外の設置場所保管場所の詳細説明として、基本設計方針から添付の中で展開されて個別具体が説明されるようなところに関しては、
0:50:42	共通的なところ、DBと一緒にまずやるところとして、三つの丸、そして、36条のうち多様性地域別悪影響、操作性等その部分で、
0:50:53	インプットとして苦勞するようなように考えているものに関してはSA単独で実施できるのではないかと。そしてそのあとの2の解析条件、解析評価等として、
0:51:05	D2、DBと一緒に評価していくようなところが、衛星設備以外の下のところの環境条件の下にあるところ竜巻火山のところに関して、
0:51:17	DBへバトンを渡してそれぞれ評価を、
0:51:20	一緒にしていくようなものを環境条件に関しては次、SAの事故のによるものなので、その内部流体の条件であるとか、部屋の環境といったところに関してはSA特有として単独で説明ができるかなと考えてます。
0:51:34	右側の方に、2-2で、環境条件のほかに、工数容量とあってこの各部分に関しても、SA単独特有のところとして、
0:51:45	個別に説明ができるかなと考えています。36条と39条例に次のページで、
0:51:53	今後どんなことをしていきたいかということ、

0:51:56	示しています。
0:51:59	はい 36 条に関して、
0:52:01	1100 として別紙を用いて、1 ポツのところに該当する部分ですけど基本設計方針と、健全性説明書の部分、こちらは
0:52:11	C4 で対対比表としてつけている部分ですけども、どのような比較になっているか、そして、現在まだこれから作るものとしてなんですけれども、この
0:52:23	健全性説明書等、6-1 の右側の水の場合ということで書いてありますけれども 6-1-1-4-2-1、重大事故等対処設備の設計方針というところ。
0:52:35	への展開がどうされているか、そして、この設計方針が溢水と、
0:52:42	溢水の説明書にどういうふうな対比になっているか。
0:52:47	そして、どこで S E の選定から、S E が i P a d を任せるか、選定の違いっていうところから、
0:52:54	ガーッと果たせるか、前提の違い、こういったところを、重大事故側から溢水が渡すものだということを代表で明確にして、それで溢水の評価の方に伊勢側に引き渡しをしていくと。
0:53:06	で、ここで
0:53:08	選定のところに右側で四角の 2-1 システム設計構造設計等ということで、S A の設計に対する要求事項だとか、
0:53:19	系統構成ってというのがここ野瀬選定のところにインプットとしてされてくるものかな。これが 2-1 に該当するようなもので十時 18 年全体概要図の詳細系統のことを、
0:53:33	添付としながら、選定に結びつけられたらなと考えてます。その詳細せ、要求事項や系統構成に関してはそのさらに左ちょっと矢印の順番からちょっと説明が逆になって申し訳ありませんが、共通 12 を、
0:53:48	構造だとかそういったところをもとに、2-1 として、性対策の系統構成や要求機能そしてそれを選定の方に結びつけて選定とかが 2-1 かなちょっとハテナマークつけてますけど 2-1、そして、
0:54:02	そのあとの S E の具体的評価として 2-2 というふうな形に繋がって進んでいくのかなと考えています。で、この相関図で、目次を合わせながら記載としてどこが足りてないかっていうところを S A を、
0:54:16	しっかり記載を拡充しながら、その記載を拡充する上で、D B の方で補足説明資料を作っているところで S A 側で補足説明資料が足りない部分が見えてくると思うので今、
0:54:29	ちょうど別紙 1 の、

0:54:31	凡例の下のところに、10 時間でもあるっていうふうな形で書いてますけれども、今後不足と考えている部分の 10 時の補足説明資料に関しては拡充を図っていこうと考えています。
0:54:42	それで 39 条のように個別の事故条文に関してはこの別紙 1 の半分より下の部分になりますけど、基本設計方針、
0:54:53	から、各自このに関する個別の説明書、
0:54:57	そしてその個別説明書から健全性説明書に繋がって、その健全性説明書から右側の環境条件事故における環境条件、スラストの環境だったり内部流体の条件をぜ。
0:55:11	設備の健全性の方に繋がっていくと考えています。そののそれぞれのところでも、
0:55:17	個別の補足説明書が数必要になってくると思いますのでそこに記載を充実しながら説明を拡充させていきたいと考えています。で、この 39 条の下のところに大きく括弧がついていて、
0:55:30	別紙十時 17 ってことは朝ミーティングの後に、ヒアリングとして十時 17 説明をするんですけれども、別紙 4 の形式で比較表を作りながら、
0:55:42	整理して説明をしていきたいとっています。
0:55:46	はい。
0:55:47	スケジュールのところを下のところに書いてますけど関連する補足説明資料の制作紐付けに関して、
0:55:54	どんなものが、
0:55:56	必要かということこれから性住まい補整理資料の補足説明資料を設工認の説明資料として、
0:56:07	生活するっていうことのほかに、他に何か必要なものがないかっていうところの紐付これはこれからも継続して実施していきますけれども、資料提出ヒアリングスケジュールの案というのを、明日目標で作りたい、まとめたいと考えています。
0:56:22	あとは右側に並行して進めたヒアリングとして機能の、
0:56:25	十時 00 の修正版をお送りしましたけど、
0:56:29	十時 00 や缶蒸発乾固の 00 を用いて、補足説明資料の紐付けの方向性といったところを、週の後半、あとは来週のところで、全体説明をしたいなと考えております。
0:56:42	次のページの別紙 2 の方に、をお願いします。
0:56:46	この相関図の細かいところは
0:56:50	十時 17 で別に説明するんですけれども、

0:56:53	こちらで説明したいところがあるところが補足説明資料の説明順番としては、左側のところの基本設計方針に今①、大きい丸数字が説明順番を示しています。
0:57:05	①として、補足説明資料交えながら、基本設計方針を説明しまして、真ん中の添付書類の部分で、
0:57:13	ちょうど真ん中ぐらいのところに、蒸発乾固の冷却機能喪失による赤字で書いてるところの右側に②として、蒸発乾固 0607 といったこととして、
0:57:23	今日は避けますけれども、事故条文の説明の中で、そこまでながら、
0:57:28	36 条に関する情報とセットで、実行条文のシステム設計の設計条件の説明をしたいと考えてます。そしてそのあとで、
0:57:38	下側の真ん中下のところで健全性のところ、
0:57:42	③と言ってますけど、健全性ですねそして一番右側に、
0:57:46	確保として④として、これらが確かに設計と評価条件が合致しているということの確認というふうな形で、まず、基本設計方針事項の各条に対する説明、そしてそれが健全性に、
0:57:59	どう繋がっていくか、それで全体として照合しているかという順番で説明をしていきたいと考えています。
0:58:06	4 ページをお願いします。
0:58:08	4 ページは昨日の資料なんですけれども、各条に対して、各事故条文で整理資料として作っているもの。
0:58:18	に関して、これらを補足説明資料として追加をしていきますこれ今、蒸発乾固をここに示していますけれども、臨界水素爆発 A T P。
0:58:29	プールだとかそういった他の条文を含めてこれらを、
0:58:33	規制庁の田尻ですすみませんだから、規制庁の館です。すいませんこれ今朝ミーティングということで全体に関わるような話を何かしたいんだと思うんですけど、結局のところ要点としては、
0:58:45	何だか何だったかっていうと、当然連携とってやってきますよっていうのとか、さっき臼井の例のところと言うと D ネット見ながら補足出してくれますよとかの話はあったと思うんですけど、いわゆる朝ミーティングでその進め方っていうのは何を共通認識にしたいんですけど。
0:59:04	辨野ホリグチです朝ミーティングとして共通認識を図りたいところが、DBとSAとして同時に、同時にやっていく部分っていうのはこんな部分であるということ後です。

0:59:14	性の部分として単独で説明できる部分ってのはこういうふうなところではないかとそして2ページの部分に関して共通認識を図りたいというところでした。
0:59:23	はい、以上で長タジリですDBと一緒にやっていかなきゃいけないやつはDBの自主性を見るんだったらそれは同時にやってた方がいいと思ってるんですけど、その同時にやってくっちゃうのは例えば今一睡も若干なんかよくわからない状況になってるんですけど、
0:59:38	SA側からのインプットっていうのはもうDBにされた状態だから同時にできるということを言ってるのか、今どのレベルにいるんでしたっけ。
0:59:45	インプットはもうDBに対して何かしらしてるから、その話をまとめて、今後一緒にいろんな条文やっていきたいんですけどっていう話をされたんですかね。
0:59:56	今、DSA側に、新SA側がDB側にインプットを引き渡してる状況ではないですそこをしっかりと整理してこれから引き渡すっていうことになります。
1:00:08	以上です。
1:00:09	規制庁田井です。一緒にやっていきたいっちゃうのはDBは待っててくださいよって話しているんですかそれともDBはDBでやっててよくてどっかで吸引していくんでしたっけ。
1:00:20	日本原燃の堀口ですDBが単独で説明できる場所に関してDBがすます。
1:00:27	すいませんコサクですごめんなさいね。はい。
1:00:32	時系列もちょっと整理してから話しましょうかね。
1:00:37	特に上流でSAで引き渡しのために何をやらなきゃいけないのかっていうのを明確にさせていただきたくて、
1:00:44	今映してるの前のページで、1ポツでやらなきゃいけないことがあるというように書いてましたけど、そんなにやる必要があることって多くないと思っただけです。
1:00:55	その認識をまず合わせるということが大事だと思います。その上で、
1:01:02	その時間を見積もった上で
1:01:05	DBに引き渡すと、そのタイミングがDBにおいてどういう状況なのかと。
1:01:11	いうことを関係者認識共有して、

1:01:17	TVでそれまでにやっていけることをやらなきゃいけないことみたいなことがあり、このタイミングで清が入ってくるとちょうどいいねと。
1:01:26	というようなところのイメージを説明いただきたいというところです。
1:01:35	そのあたりはいつ話ができますか。
1:01:43	済んで、
1:01:46	はい。
1:01:48	明日にもできるように配布ご期待とか入っています。
1:01:54	はい、古作ですよろしく申し上げます。
1:01:57	それ
1:01:59	最初のページに戻ってもらったところで申し訳ないんですけど次のページ。
1:02:04	添付書類。
1:02:07	どこで何が書いてあってそれぞれこう繋がってくるから、ここはSAでここはDBという行動でという古藤なんですけど、
1:02:17	まず39条は全体的に00資料の別紙4って、
1:02:25	三田家を呼んだ票というような形で連携図っていく様を整理をし、説明していくと。
1:02:33	いうことうだと思う。理解をしてるんですけど、36条があって、それが健全性説明書で止まっちゃってるんですけど、
1:02:44	その次の、ちゃんと引き渡してますみたいなのはやらないんですかね。
1:02:53	はい。日本原燃の瀬川です。ここはですね、
1:02:57	ちょっと社内でも議論したところでした4段票散乱票の形にして、健全性説明書から、その添付の、今緑字で書いてあるところですね、対処設備の設計方針、
1:03:09	ここへの引き渡しっていう部分を、やはりきちんと相関店鳥瞰図だけではなくて、
1:03:15	比較表の形で見せた方がいいかもねというのは、ちょっと議論してたところでした。ちょっとそういう意味で、まだちょっとこのイメージ図もですね、まだ精査足りてないという認識です。はい。以上です。
1:03:27	はいコサクです。現状書いてあるルー別紙を用いてっていう範疇であれば、SAでまずやっておくということですけど、その先の今追加でというようなことが、整備で。

1:03:39	来た段階では、DBも合同でやって、つないでいくというふうにヒアリングを進めていただけるといいのかなと思いますが、そういう理解でいいですかね。
1:03:53	日本原燃のホリグチでその理解ではい。
1:03:56	理解です。はい。はい。補足です。わかりました。それがいつぐらいでどう進むのかというのを、それも先ほどもう明日の朝ということでしたので、
1:04:07	同じく言っていたいただければと思います。
1:04:10	それでこの図だとよくわからなかったのは真ん中の一番右、
1:04:16	何かこれ宙に浮いた感じなんですけどこれって何ですか。
1:04:26	はい。日本原燃の瀬川です1ページのところの、すいません1ページ戻っていただいて左下の2-2のところの、1個だけ紫字にしている環境条件ですね。
1:04:39	そういう部屋温度で計器がちゃんと動くとか、すいませんコサクです耐圧ですね、ハセガワさんごめんなさい、古作ですけど、内容を測ってて、
1:04:51	位置付けがわからないってということなんですけど。
1:04:54	何か宙に浮いた形で補足説明資料で、とりあえずヒアリングしてくれてということですか。
1:05:06	日本原燃の瀬川です。
1:05:08	すいませんこれ一あれですね、補足説明資料もあわせてなんですけれども、すいませんちょっと表現の仕方が難しかったです。健全性に関する説明書の中に入っている。
1:05:21	内容の一部は、この右側のところに抜き出されてるイメージでした。
1:05:27	健全性評価、健全性に関する説明書の一部です。はい。
1:05:32	古作です。
1:05:36	そうだな、環境条件、
1:05:39	バー。
1:05:42	健全性説明書
1:05:46	ん。
1:05:47	ごめんなさい。
1:05:49	健全性説明しよう。
1:05:52	ヒアリングすること等、設定根拠で説明をすることと、

1:05:58	さらに環境条件っていうの内部流体のっていう意味であれば、個別条文側の説明書で説明しますと言っていたはずで、その辺りの関係性ってどうなってるんですか。
1:06:15	はい。日本原燃の瀬川です。すいません、ちょっとそういう意味で、ちゃんと整理してない図なので、余計な混乱を招いてしまったかなと思ってます。
1:06:25	36条の要求項目である、多様性位置的分散から試験検査までの5項目中7項目がございませけれども、そのうちの個数容量については、設定根拠説明書で説明する。
1:06:38	事項でそれ以外は健全性説明書で説明する事項というのがまず入口の整理だと思ってます。中でも、環境条件のうちですね、外部衝撃だとかのそういう自然現象と、
1:06:53	すいませんコサクです。何か整理できてないみたいなので、またその関連図の中どう説明するのかっていうのを、
1:07:01	確認させてください。特に今かかったライフ流体云々で圧力とかっていうのは強度計算書なので、健全性説明書ワー飛ばすだけなはずですから、
1:07:13	ちょっとやっぱり図として十分精査できていないということかなと思います。
1:07:19	もしあれだったら整理をして明日の朝でもいいですし、別途SAのヒアリングの時でもいいんですけど、よろしく願います。
1:07:46	古作です。現在聞こえますか。
1:07:52	県と業者です。今ちょっと六ヶ所の方がですねちょっとプランナー1回落ちたみたいで、もう1回再接続の方ちょっと試みてるところです。
1:08:02	はい、わかりました。
1:08:05	インターの方の利益の問題。
1:08:09	企業通り私がします。
1:08:13	上についてのこのグループリーダから写したのは、
1:08:18	漢字ですよ。
1:08:40	拳手ですけども、今、六ヶ所の状況がパソコンの電源がちょっとこっちだったみたいで継続して接続を試みてるところですすいませんけど、もう少し、
1:08:53	はい、了解しました。
1:10:23	マイク。
1:10:54	規制庁たりですとかした復旧のめどって何か連絡来てますか。

1:11:00	えっとですねやはりまだめどは来てないんですけども、今、再起動している途中とのことまでは聞いております。
1:11:08	今はもう少し、ちょっともうチェックの方から見ると、
1:11:13	今パソコン電源入ったようなので、
1:11:15	もう今しばらく
1:11:18	お持ちいただければと思い
1:13:50	知らない。
1:13:51	規制庁シミズですと今、藤間さんから連絡があったんですが、
1:13:56	接続、何回もこれ見ても、
1:14:00	無理だっていうことで、ちょっと原因突き止めて、今の続きは午後によっと午後のヒアリングで、
1:14:08	やるっていうことになりましたので、午後ちょっと1時からヒアリングおかし。
1:14:14	そしてちょっと鈴木をやりたいと思います。
1:14:20	なので、
1:14:22	はい、秋吉さん、了解しました。
1:14:25	六ヶ所と調整します。はい。またちょっとそれでもBの麻生であれば
1:14:35	はい、了解、それで行ったのヒアリングを、
1:14:39	はい。ありますので録音を停止します。
0:00:01	規制庁清水です。登録を開始しました。
0:00:04	午前中のヒアリングに引き続き、当会実施したいと思っております出席者について改めて紹介いたします。土岐。
0:00:15	規制庁側の参加者ですが、
0:00:18	本庁会議室からコサクオオハシタジリタカナシ。
0:00:23	とそのパネルからハバサキカミデオオカフジワラタケダセトガワ。
0:00:31	いない。
0:00:32	意外になります。
0:00:35	それでは日本原燃の方からの出席者の紹介と本日のヒアリングの議題の出席者とそれぞれの役割の紹介後議題の構成の説明を開始してから説明を開始してください。
0:00:51	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:54	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:58	まず事務局より、サトウタカハシ。
0:01:03	セガワ。

0:01:04	フジノ。
0:01:05	ナカハマ。
0:01:08	S A 関係、本日重大事項の 00、10、17 ですね、のご説明で、
0:01:15	ホリグチ、タマウチ以上が参加者となります。
0:01:19	ご確認くださいませ。それとですね、類型分類ですね、類型分類の方が ございます。
0:01:27	こちらの方は、棚田が参加いたします。
0:01:30	それで
0:01:33	S A の進め方含めて、十時 17 の方ご確認をさせていただきます。
0:01:42	日本原燃の瀬川です。午前中の、ちょっとつづきを解説をさせていただきます。 衛藤。
0:01:51	画面共有で、午前中の、
0:01:54	C 型の進め方ですね。
0:01:58	の、
0:02:00	はい。
0:02:01	ページをご覧ください。午前中、コサクさんから環境条件、
0:02:11	何か中に回答でございます。それで、ちなみにこの移されてる資料って どういう位置付けのやつでしたっけ。
0:02:20	はい。ですねこちらの資料は、今左下に書いてある通りですね、今後の S A の進め方というか政策ですよ。そういうことじゃなくて提出資料 になってくるんですかっていうことです。
0:02:36	はい。提出資料にしたいと考えておりますこれそのものがまだちょっと ドラフトなのでこれを精度上げて提出したいと考えております。
0:02:47	規制庁コサクですけど、結局スケジュールの話したりするのとかに集約 されるような気がしてて、これ単品で、
0:02:57	提出されてもなんじゃないっていう感じがするんですよ。先ほどの話も う、十時 17 の方関連性が説明されてて、
0:03:09	それー。
0:03:11	を踏まえてこういうふうの説明していきますって言うてくれればいいの で、あまりこの資料で議論するつもりもないんです。
0:03:23	はい、わかりました。
0:03:31	ですね、ここ今ご覧になってる資料は一番後ろに、ポイントとなるところ のスケジュール概要まとめてましたけど、5 ページ、すいません。画 面共有。
0:03:42	5 ページですね。

0:03:44	どういう捕捉をどういうタイミングで出していくかというこの縦軸も充実させた上で、スケジュールについて改めて提示をさせていただきます。
0:03:54	先ほどのご指摘の部分につきましては、十時 17 を一部用いてですね、
0:04:01	位置付けを含めてご説明したいと思います。
0:04:05	はい、高久です。それにあと十時 17 との関連で航行したり或いは今スケジュールの話は、スケジュール表につけていたりという古藤適時、
0:04:20	意味のある場所に貼り付けていただければと思います。
0:04:26	はい。日本原燃の世界承知いたしました。
0:04:36	はい。日本原燃のタマウチです。そうしましたら十時 17 ですね電話 5 年 2 月 15 日提出の資料で、
0:04:44	中身をですね、簡単に説明させていただきたいと思います。
0:04:48	資料を開いていただきまして、
0:04:52	そうですね。
0:04:54	まず 3 ページをご覧ください。
0:05:02	本資料の位置付けですけれどもご存知の通りセンターの比嘉公文でお示しておりますことと、あと関連図のですね改正をしておりますということを書かせていただいております、早速
0:05:14	関係のですね相関図のほう、ページをお願いしたいと思います。
0:05:18	こちら前回からの変更点を簡単にご説明させていただきたいと思います。
0:05:26	引き出しの中ですね例えば左下のオレンジの出だしが二つありますけれども、その右側ですね。
0:05:33	のところで呼び込み、赤字出しておりますけれども、読み込み方が不適切だったので、ここをですね、修正したいとされまして、
0:05:41	あとメインとなるところは矢印の向きだと思うんですけども、
0:05:45	右下の設定根拠のところですね、6-1-1-3 の設備別記載事項の設定根拠に関する説明書の箱からの関係をちょっとご紹介します。
0:05:56	こちらですね、まず、
0:06:00	自己管理ですとか、事故シナリオにですね関係するものは、すべてすみません細木です。ちょっと時間がちょっとないので、端的に話を。
0:06:10	浅香井野様にサクサクっと行かせていただきたいと思います。
0:06:15	この図面で言うと、

0:06:19	健全性説明書等、内部流体の温度条件と言っているとところとの関係の向きを、前は下向きだと上向きにしたというようなことだったり、それに対応して、
0:06:31	打ち出しの表現を変えたということで、そのあたりは大体認識が共有できていると思うんですけど、
0:06:39	まだ不十分かなと思うところと言うとですね、場所でいうと、大体換気設備に関する説明書の
0:06:50	右側の矢印。
0:06:56	これの吹き出しがあまり適切じゃないかなって感じがしています。
0:07:03	後ろの方の資料を見ると、この矢印のように
0:07:14	エッセイ設備基本方針のところから、
0:07:20	設計設定根拠説明書に飛ぶ表現をしてるところがあって、それ自体はすいいと思うんですけど、それを表すようにここまともに書いてるように見えなくてですね。
0:07:31	整理をしていただきたいと思ってます。で、具体は後のところで、ここはこういうふうに飛ばしたいと思ってますってということで話をしていただけだと思います。
0:07:41	その下、
0:07:44	設定根拠に関する説明書から健全性説明書に飛ばすところなんですけど、
0:07:51	これは環境温度環境圧力等の数値って言われるんですけど、
0:07:56	それ自体は内部流体の方にも飛んでいくような気がするんですけどこれは、一旦健全性に飛ばしつつ、健全性からさらに、
0:08:06	飛ばすってということでの線を引いてると思えばいいですか。
0:08:15	日本原燃の瀬川です。
0:08:17	ちょっと表現を合わせるべきだったかなというふうにご指摘踏まえて思いました。一番右上のですね事故時の吹き出し事故時荷重の数値の根拠は3-2に基づく、
0:08:28	ここの思いは内部流体温度圧力は3-2に基づくという思いで書いていったものになります。以上です。
0:08:38	古作です。そうすると、今私が言ったところの吹き出しはそれ以外の各機器の今度圧力、
0:08:50	の根拠は、
0:08:51	健全性、設定根拠じゃなくて建設説明書2飛ばすってということなんです
	ね。

0:09:02	はい。
0:09:03	日本原燃の曾我ちょっとそれが本当に正しいかってのはちょっと不安になりましたが、130度とか、0.5MPaというそういうデジタル値そのものの根拠は、
0:09:13	事故条文に関する説明書に基づくと、
0:09:17	実際に、
0:09:20	まだちょっと整理がいまいちだな。
0:09:22	うん。そうですね。
0:09:25	はい。ちょっとすいません。ちょっと整理がいまいちだなというふうに今思いました。
0:09:30	はい。補足です。今の話ワー、言われたその一番右から上に行っていく話であって、それを踏まえてこのっていうことであれば、
0:09:45	T
0:09:47	等、
0:09:48	外気温何度とかそういうような話。
0:09:51	の部分だったりすると思うんですけど、
0:09:55	それをわざわざ健全性説明書に飛ばして書くのかと。
0:10:00	いう古藤が若干疑問だったんですけど今後ろにそういうのついてます。
0:10:09	はい。日本原電の瀬川福士様に該当箇所を記載してございます。
0:10:14	何ページだか言っていただけますか。
0:10:22	少々お待ちください。
0:10:37	日本原燃のセガワすみません
0:10:39	後ろに書いてあると言いながら、すいません今回の方針、資料にはちょっと記載がなかったですね、該当箇所がちょっと抜けてます。はい。申し訳ないです。
0:10:50	はい、保坂です。そうしましたら、設定公表説明書等健全性説明書のすみ分け、その関連性というところで、対比をつける資料を、これにつけるのか、
0:11:03	どこでつけるのかってのは整理をしていただければと思いますけど、そこで話をしていければというふうに思います。
0:11:10	他も基本的にはそういった形で、次の304票のところを踏まえつつ、この吹き出しの意味が
0:11:23	こんな感じで考えてますというのが、5、認識共有できるように進めていただければと思っています。
0:11:34	次から非架空書かれてるんですけど、

0:11:42	この資料は最小まず
0:11:47	39 条対応ということのを例にとるので、大枠で受ける。
0:11:55	昨日の説明書があり、
0:11:58	その展開先添付書類ということで、
0:12:05	6 ページでは健全性説明書がついてると。
0:12:10	いう形になってますけど、
0:12:13	これ、
0:12:14	これは
0:12:17	ついてるのは全部健全性説明書ってわけでもないような気はするんですけど。
0:12:21	そこら辺どういうふうになってるかまず説明いただけますか。
0:12:31	はい。日本原燃タマウチです。こちらの資料はですね、展開先添付書類を今、すべて健全性に関する説明書で固定しております、
0:12:41	備考のところで設置根拠ですとかは他の県と呼ぶ形で整理しておりました。以上です。
0:12:51	すいませんコサクです例えば 20 ページのところ健全性説明書さらに不遇のようなものは備考で書いてます。
0:13:01	いうのはわかりますが、
0:13:09	これは別紙 4 の 0 って書いてますけど、
0:13:17	と 39 条の 00 資料別紙 4 の、
0:13:22	A-1 がこれで、
0:13:26	一何番かで、
0:13:30	共同説明書をつけるってことですか。
0:13:36	はい。日本原燃の瀬川です。
0:13:39	そう、そういう整理が必要かなと思っておりました。この健全性説明書から直接、他の店書類こそ蔵書の強度に関する説明書とかに飛ぶ場合もありますし、
0:13:51	一旦この健全性説明書から、午前中これも英断票で整理必要なんじゃないのってご指摘のあった添付書類ですね、そちらに、この小山添付書類からの方針がどう展開されるかと。
0:14:04	縦でもあわせてまた示していきなさいけないと思っておりまして、
0:14:09	それを 1 枚で表現するのか、ちょっと別紙を分けてですね、整理するのかと、間宮主査含めてちょっと検討が必要かなと思ったりとところです。以上です。

0:14:20	古作です。これだけ
0:14:24	39条の002別紙つけても何のことだろうっていう。
0:14:28	気がしてて、強度計算書わあ、37条でしたっけ。
0:14:34	のところでついてくると思うんですけど、二重に作業する意味ありますか。
0:14:41	はい。日本原燃の瀬川ですこちらの蒸発乾固側、
0:14:47	整理しなきゃ、蒸発乾固側で整理しなきゃいけないのは、強度に関する説明書の方針説明のところまでですね、そこまでの繋がりを、
0:14:57	一応、更新の展開ということで示さなきゃいけないかなと思っていた次第です。以上です。
0:15:08	規制庁コサクです。
0:15:10	今の19ページ20ページっていうことだと思うんですけど、
0:15:15	言われたその強度計算書の方針のところをこれを受ける場所ってあるんですか。
0:15:33	はい。日本原燃の瀬川です。
0:15:40	今日、強度に関する説明書は、
0:15:44	ちょっとあったかという、なかったかな。コサクです。天野D、ちゃんと場所を考えて話しましょうねっていうことです。
0:15:54	私のイメージとしては、
0:15:57	強度計算書2、これをきっちり受けるようなことを元と書いてるような場所って、
0:16:03	あるとは思えなくて、
0:16:05	逆に言うと共同経産省の方の説明というか、37条の00のところちゃんと書く上から飛ばされたものが受けてますよっていう説明をしてもらえば、
0:16:21	拡張のこの部分っていうのを、
0:16:24	引用。
0:16:25	ここで言うと展開元なのかもしれないんですけど、いうところを引用して、
0:16:31	照合していけば十分でわざわざ共同関係のものを拡張でつけるっていう必要はないかなと思うんですけどいかがでしょう。
0:16:42	そうなんです。
0:16:44	すいません。ノミネーションですから轡田さん、すいません。共同計算みたいなものはおっしゃる通りです。話し合いなりリンクが張られていれば、わざわざこの39条で一生懸命添付の話をする必要はなくて、

0:16:58	多分先ほど瀬川が話し掛けたところでちょっと分類を混同してしまっているので、
0:17:06	今、健全性と39条のやりとりをしますけども、ある説明をさらに他の設備の、
0:17:15	構造を説明するような添付書類で詳しく説明をしているという場合は、その例えば右2、これがさらにこのA棟廃棄施設とか、
0:17:24	添付書A、こういう構造をさらに詳細に説明していきますよとかっていうリンクがある場合は、
0:17:30	右に対して説明をしていく。単純にここはこの添付側で説明しますからといって飛ばせばいいのは、リンクを貼って飛ばし行ってそっちを見てくださいと。
0:17:40	いう話なので、そういう紐づけをしないといけない分類をちゃんと上げた上で、このケースはこう書きますこのケースはこう書きますけど、ちゃんと整理をすればいいのかなと思ってました。以上です。
0:17:52	はい。補足ですよろしくをお願いします。で、その点で言うとその前の14ページに先ほど
0:18:00	後で見ればといったところの、
0:18:03	凝縮きいの冷却能力っていうのは前提にあつての、渋滞温度だと。
0:18:10	ということで、飛ばす部分があつてこれはそうだろうなと思います。で、それについてどういうふうに書かれてるんだっていうのはもう設定根拠の説明書見ればいだけで、
0:18:21	ここで対比する必要もないので、ちゃんと入ってますよねっていうことだけがわかればいということで、照合できればいいものだと、
0:18:29	わざわざ対比を作らなくても照合できるものだと思います。
0:18:36	はい、上西でございますはい。そういうことをちゃんと分類を理解した上で、書き方のケースをちゃんと考えるということだと思います。実際、すいませんいろんなものを同時並行的に
0:18:49	申請をしてないような目標を作つていろいろ交通整理をしないといけないんですけども、その場合でいくと、この展開先添付書類は、必ず一つではなくて、いろんなものがその中身によって変わってくるみたいな。
0:19:03	書き方をしてしないといけないよねみたいな話をして展開をしたりもしてましたのでそういうのもちゃんとお互い話をして、どうあるべきかっていうのをちゃんと整理をしていくということが必要なと思ってました。以上です。

0:19:15	はいコサクです。それで5ページ戻ると、今話をしていた真ん中の設備に関する説明書というものと関連してるのは、
0:19:26	健全性説明書だけではなくて、代替換気設備に関する説明書、
0:19:33	なり受け側としての設定根拠説明書、
0:19:37	受けというか何だろう、展開元としてってことな
0:19:41	ということで幾つか線が繋がっているわけで、それがちゃんとわかるように整理を、椎名をしてください。
0:19:52	はい、日本のセガワ承知いただきました。
0:19:55	はい。なのでこの吹き出しが先ほど言ったように後ろの何ページのどの部分見てくださいますと。
0:20:02	ということでわかるようになると思ってますので、できれば
0:20:07	この資料を拡充するのであれば、後ちゃんと入れた上で、当該ページとか書いてもらおうとパッと見て、そうだねって思えるということだと思いますのでよろしくお願いします。
0:20:21	はい、承知いたしました。
0:20:31	規制庁小阪です。後の3番目4票っていうところと言うと、あと何か話をしておきたいってのありますか。
0:20:48	日本原燃の玉置です。
0:20:50	36条の個別設備からの展開の仕方でちょっと、
0:20:57	お話をしておきたいところがあるんですけども、次でですね25ページよろしいでしょうか。
0:21:06	1ページ25。
0:21:08	はい。
0:21:11	ここからですね
0:21:14	この辺ちょっと昨年度大体安全で脚水系もう基本方針の途中になってるんですけども、ちょうど25ページの真ん中のところでちょっと歯抜けがございますけれども36条の大枠の方針、
0:21:27	をですね説明する制限をした上で、次の27からですね通しページで27ページなんですけど、
0:21:37	36条の記載の展開を書いています。
0:21:40	今基本設計方針と比べて添付書類も同じようにですね今回、36条の大枠は書かせていただいて、
0:21:48	行くんですけども、29ページご覧になっていただくと、
0:21:54	はい。真ん中が抜けてるところがございます。ここの文章を見るとですね、基本設計方針で、屋外の設管方設備100メートル離すという

0:22:05	設計が書いているんですけども、こちらに関しては、系統設計ではないので、個別説明書、
0:22:13	にですね、具体的な記載は書かずにですね、こういったものは、すべて健全環境条件の健全性に関する説明書の方に、
0:22:23	文章を記載しようというふうにですね、整理を考えております。
0:22:28	古作です。すいません。どういう記載方針で言ってるのかがまたわからなくなりました。
0:22:34	関連ずーで話をしたところでいうと、第2章の基本設計方針は一旦全部この書類で受けると。
0:22:42	いうことを行った上で詳述については別の添付書類に飛ばすという話だったはずなのが、受けないっていうふうにまた言われてしまって、
0:22:52	そういう
0:22:55	右往左往するのやめませんかということだと思うんですけど。
0:23:03	はい。認識があったと思ってます。ちょっとここどうしようかと悩んだのが事実で、まず議論できるようにということをして1回抜きましたけれども、
0:23:14	一旦全部受けるという整理は、その方向でもう1回再作成したいと思えます。
0:23:22	はい。補足です。その上で一旦受けるとはいうものの、どこまで書きますかっていうことであって、他の場所でも書いてますけど、基本設計方針丸々書きますかと。
0:23:33	というようなことであったり、或いは晶出しなきゃいけないと思えますけどっていうふうになっているところもあり、
0:23:42	そのあたりを、どういうものはどう、
0:23:45	するかというのの考え方をまず説明いただいて、それがこういうふうに展開されているということで話をしたらいいかなと思ってますので、考え方の整理をお願いします。
0:23:57	逆にですね、今、添付書類の方を拡充しなきゃって書いてあるところで、それよりも基本設計方針を絞った方がいいんじゃないと。
0:24:06	思う部分もあるような気がするんですけどいかがですかね。
0:24:17	はい、日本の石原でございますはいまず別紙1の時にどういうやり方をしてるかそれが基本設計方針いわゆる設工認の本文として、何て言うんすかね言うべきこととして、

0:24:29	多くないかということも含めて多分、重大事故側特にやらないといけな いかなと思ってます今単純にベースの方針を第1回で決めた時みたい に、本文丸々
0:24:41	許可の本文丸々スライドしてますけどそれって基本設計方針としてどう なのっていうのは、特に重大事故が出てくるような気もしてますのでそ こも含めて、整理をして、話ができればと思ってます。以上です。
0:24:55	はい、古作です。よろしくお願ひします。まだ考え方聞いてて具体はこ うなってますよってなれば基本パターンが固まっていくと。
0:25:05	ということだと思ってます。先ほどの健全性のところ、特に多様性とかに ついては、系統構成として非常に大事なので、
0:25:16	そこはあまり端折らずにしっかりと書いていただきたいと。
0:25:20	いうところはあります。で、それー以外について、健全性に飛ばした方 が、
0:25:31	合理的だというものがあれば、
0:25:35	大枠書いた上で飛ばしていただいて建設の方の後の系統別の説明という ところに飛ばすんでしょうから、
0:25:44	健全性に飛ばしたからといって具体が書けないっていうことではないは ずなので、しっかりと受けていただければと思います。その時には、第 2章のこの部分の部隊がちゃんと落とし込まれてますよと。
0:25:58	いう説明ができるように、こういった対比表を改めてつけるという、
0:26:05	口頭であってもあれか、ここであれですね3段になってるからそれでわ かるってことだと思ひますので、
0:26:12	そういう形でしっかりと、ここでは解約してるけど、健全性の方で受け てますよってわかるようにしてください。
0:26:22	はい。する意味っていうのはまさしくそういうところにもあると思ひま すので。はい。別紙1で、添付1飛ばすって言った時には、そこがちゃ んとどこかに入っていることも確認ができるように、次、
0:26:36	まず、そういったルールというか考え方をちゃんと決めて、サンプルな り何なりでご説明してこういう展開をしていきますってことで、
0:26:45	早めにお話できればと思ひます。以上です。
0:26:59	はい、規制庁とかですな等、今この件その他何かござひますでしょ うか。
0:27:06	あと、ちょっとだけ。あれ、あんまり深いこと言わないほうがいいです か。いや、これは移籍するだけでやっていきたい。
0:27:15	はい。その他何かござひますでしょうか。

0:27:20	規制庁タカハシ1点今の話と関連すると思うんですけども、
0:27:26	はい。衛藤。
0:27:28	要は考え方を整理されるということで、その一環だと思うんですが今後ろの方につけていただいている3票というか4票というところの中で、いろいろ振り出しをつけているところは今後整理していくところの考え方を示しているというところ。
0:27:42	で、例えば18ページに何か一般化した記載がとかいうのは、要はどれぐらいの書きぶりにするとか、どこにどれだけ残して飛ばすときにどれだけ記述させるかそういったところの整理を今後していくというような意味で書かれてると。
0:27:55	いう理解でよろしいでしょうか。
0:28:00	はい。日本原燃タマウチです。
0:28:02	はいおっしゃっていただいた理解で大丈夫です今個別具体の機器がちょっと書きちゃってるので、そこは
0:28:07	一般化した記載に直していくということで考えております。以上です。
0:28:12	はい、規制庁タカハシそれでは整理の中でまた展開していった確認させていただきたいと思います。
0:28:20	あ、すみません規制庁大橋ですけれども。
0:28:23	ちょっと確認なんですけども、
0:28:29	このページ35ページですけれども、
0:28:33	35ページで下のところの添付書類の6-1-1の、
0:28:39	6-1-1-2-2ですか、一番最後に、黄色くハッチングしてまして。
0:28:43	設定根拠説明書へのその引き継ぎを記載するという
0:28:47	ことで、
0:28:48	こちらの具体的な記載例はまだ記載してないんですけども、何かどんな記載があるんでしょうか何か他のところだと、
0:28:55	例えば健全性説明書とかの通り、22ページとかだとその健全性説明書に示すっていうふうなことで、記載してますけれども、そこは何か、
0:29:05	どんな機会になるのかちょっと考えがあればちょっと。
0:29:09	示していて、
0:29:11	教えてもらえますでしょうか。
0:29:15	はい。日本原燃のタマウチです。ご指摘いただいた黄色ハッチングのところはですね上に具体的な個数容量が書いてございますので、その
0:29:25	個別具体的な個数をについては、設定値根拠の方で、参照してますというような、2月のですね、

0:29:31	記載を変えて、ここに備考の方にもですね、
0:29:35	具体的な設定根拠はどうですかというところを書こうかなというふうには考えておりました。以上です。
0:29:42	はい。基本的に何か
0:29:46	まだ期待されてなかったのになんか迷われて現れてるのかなと思ったんだけど、そういうわけではないと。
0:29:55	表現の友達です。
0:29:57	繋がりを示すという考えのもとで、
0:30:02	多分リンクを貼るということは一応考えておりました。以上です。はい。今後記載が示されたらまた確認したいと。
0:30:13	はい、規制庁トガシその他何か、本市でございます。に関して確認コメント等ございますでしょうか。
0:30:22	理事長の藤原です。
0:30:24	45 ページのところ設備側に飛ばすような話がかかれてると思うんですけど、今はまだここ、あれですか、書いてる途中な感じですか 6-1-1-2-2 の記載です。
0:30:43	はい、日本原電の瀬川です。45 ページの赤字の部分は、まずダイジェスト的にこういう設備も使用しますよということを宣言した上で、その具体は、
0:30:56	ちょっとページをめくっていただきますと、
0:30:59	47 ページからですかね。
0:31:04	ええ。
0:31:06	環境への対処で使う設備として水供給設備であればこういうものです。大きく同様であればこういうものだというのを 47 ページ以降で具体化しており、おったところですよ。以上です。
0:31:21	施設のジュールですわかりました下の方に書かれてそこからまた、水供給
0:31:27	法の説明書の方に、
0:31:37	規制庁タカナシその他何かございますでしょうか。
0:32:10	本町トガシタカナシフジワラ今何かおっしゃいましたでしょうか。
0:32:18	院長の藤村です多分接続が悪くて何か、
0:32:21	混線してるだけだと思います。もう言ってません。はい、ありがとうございます。
0:32:31	それでは規制庁タカナシその他何かございますでしょうか。
0:32:55	規制庁タカハシ

0:32:57	これも整理中というところなのであまり、
0:33:00	今の段階でということではないかと思うんですけれども一応念のためということで、
0:33:05	例えば16ページのところですね書き出し基本設計方針のところだと、四角書きでどこから来たかというのは、何分の何ページからみたいな記載になっている。
0:33:17	ところがあるかと思うんですけれども、
0:33:19	後ろの方に行って、例えばどこでもいいから35ページとかですと、四角のところの上が②からという感じで何か数字、鈍る数字だけの企業と何か二つパターンあるみたいなんですがこの辺の関係ってというのは、
0:33:33	どういう、どういう違いがあるのかというのか或いは、最終的に何か成功するのかというところをちょっと今お考えがあれば聞かせてください。
0:33:42	はい。日本原燃の瀬川です別紙4の作成のお作法というのは決まっていますので、すいません。それに従ってここの記載はきちんと適正化いたします。
0:33:52	すいませんこの資料は、まさに十時17につけたといったところでこんなふうに展開していきたいんだという方針を、
0:34:00	示したものでして、ちょっとそこら辺の整合取りつてのができてなかったのが実態です別紙4として仕上げる時にはしっかりお作法に従って作成して参ります。以上です。
0:34:10	規制庁富樫です。よろしくお願ひします。
0:34:16	その他何かございますでしょうか。
0:34:24	はい。規制庁高橋です。よろしければまた改めてその整理の方を進めていただいて、考え方とかですね或いはちょっとその修正したものでですね、
0:34:34	確認をさせていただきたいと思いますので、対応よろしくお願ひいたします。
0:34:54	そう。
0:34:55	うちの規制庁会議、明日規制庁シミズです。もともと午前中に予定していたメニューは、これだけでよかったでしょうがよければ
0:35:05	分類させ、ところに入りたいと思いますが、例年いかがでしょうか。
0:35:12	はい。日本原燃事務局中浜です。はい。準備等となってございますので、よろしくお願ひいたします。

0:35:18	はい。規制庁清水ですと、分類の資料について午前中に少し話し合ってたんですけども個別の内容について確認ということでヒアリングしたいと思いますが、
0:35:32	もし原燃から追加玲奈さん内容的な説明とかがあれば、
0:35:36	説明を聞こうと思いますが、特になければこちらからの確認ということになりますがいかがでしょうか。
0:35:45	日本原燃田仲です。こちらの方からですね昨日の朝ミーティングの際にですね、カミデさんの方からご指摘あった点について2点。
0:35:55	ありましたのでそちらの方回答させていただいてよろしいでしょうか。はい。お願いします。
0:36:02	はい。それではまず、昨日いただいたのは設備リストの通し番号がずれてますというのが一つと、F施設の制御室遮へい、
0:36:12	がもともと新規だったけども、昨日の累計分類のAのところにも東三しなかったのはなぜかその2点についてご説明させていただきたいと思います。
0:36:22	まず初めに通し番号がずれていた件の方につきましては、設備リスト申請で使いました設備リストの方につきましては、10登録ですか登場しない設備、
0:36:35	というものについては、設備区分だけを、4行ほどリストの方で示しておりました。で、今回の作業についてはその設備の登場しないその4行分については、削除したような形で、一旦作業をして、もう1回通し番号を振り直したということで、ずれが生じているというのが、
0:36:55	ありましたので、もう一度申請した時の、通し番号にですね改めて直したものを、昨日提出させていただいております。
0:37:03	というのが一つ目の回答と、
0:37:06	制御室遮へいのところの新設、申請書では変更区分新規というふうになったところについてはですね、類型分類の考え方の整理というところを踏まえまして、もともとの建屋として、その壁は、
0:37:20	あったんですけども、ただそその壁について、今回新たな要求ということで、制御室の居住性ということで遮へいの要求が追加されたと、いうような整理になるかというふうに考えましたので、
0:37:33	もともとあった壁に対して要求が追加されたと、いうふうなことになりますと、B I Iで整理すべきというふうに考えましたので、制御室の遮へいの壁、

0:37:47	保護については、新規という、分類というのではなく、B I Iということで整理しておりましたので、昨日登場しました分類で相当したリストの方からは、
0:37:59	登場しないようなものになっております。一方、
0:38:04	Aの方に登録するものは、
0:38:07	この類型分類の話の方の、で整理されました。固化セルフフィルターのところが2基追加になったというのと、冷却塔のを移設する分、移設を伴うものは、Aというふうに整理されておりましたのでそちらの方を、
0:38:22	区分というふうに振り直して、新設用の扱いのようにしておりました。
0:38:27	回答としては以上になります。
0:38:33	規制庁カミデですけど、
0:38:35	いわゆる今の話からすると、
0:38:38	Fの制御室の話にしましょうか。
0:38:42	実はB I T Sなんですって言われても、
0:38:47	昨日もらった資料の、
0:38:51	へえ。
0:38:55	集計でいう。
0:39:00	うん。
0:39:01	13 ページが耐震向上、
0:39:04	ね。
0:39:06	B I Iに入ってますって言われても、
0:39:09	あ、すいません、資料も何か。
0:39:13	共有されてないようですか。そうですね。
0:39:17	B I Iバーになってますけど、どういうことなんですか。
0:39:22	日本原燃田仲で申し訳ございません。
0:39:25	こちらの遮へいとして、
0:39:28	廃止の方で言いますとB1になります。
0:39:39	規制庁。
0:39:41	遮へいの表が出てくるとそれは、
0:39:44	Aになるってことですか。
0:39:50	はい。日本連タナカです。遮へいの方ですと、B2の方になりまして耐震の方だとB1 というふうになります。
0:39:59	はい、規制特化フェーズ

0:40:02	設備リスト間違ってますって言われてよく聞こえるんですけど、あって、全部それで、それぞれ正しいんですけど言われても、何か全然、
0:40:10	どういう考えでそうなるのかっていうのがすごいこう混乱するんですけど、どういうことなんですか。
0:40:17	はい。二本木石田でございますけどちょっとまず事実を言わないといけないのに訳のわからんこと言ってますねまず、すみません新設既設改造のフラグですけども、
0:40:28	後の制御室の遮へいについては、設備リストが間違いです。
0:40:33	あれは既設としてフラグを立てなきゃいけないところが新設になっていたの、それを修正してますというのがまず一つ目。
0:40:45	冷却塔の移設をしたもの、これ設備リスト上のフラグは改造になってましたけど、これを今回の区分に合わせて、新設に変えてますそういった形で、
0:40:55	間違っていたことも、修正をしたものを前提に今回カウントしましたというのがまず最初の事実でございます。以上です。
0:41:06	はい。規制庁小出です。
0:41:11	わかりました設備リストも含めて再整理中ということであれば、
0:41:17	とりあえずFの話を、
0:41:20	ちなみにFの花、Fの制御室の話は、大和、
0:41:25	もう本当に何も設計上、
0:41:28	3者としては全く触りません。
0:41:32	ということなんですけど、あれですか。
0:41:35	設工認上どうなるのか、例えば
0:41:38	遮へいであったとかの線量評価のところでは何か出てきたりするもんなんですか。
0:41:53	少々お待ちください。
0:42:04	遮へいの評価を、
0:42:06	日本原燃志水です。藤技術課申しますと、まず設備としては変わってなくて、今回既認可でAとFの制御室の遮へい評価を載せなかったものを、
0:42:18	今回制御室の遮へい評価ということで、改めて今回の第2回の設工認で載せているという整理でございます。
0:42:29	はい。規制庁小浦です。とりあえずは、
0:42:33	規制庁の館です。

0:42:35	今のFの制御室の遮へいって何を考慮してるだけでしたっけ。NEIMA何対策っていうか、
0:42:41	DBですね。
0:42:50	はい。すみません。日本原燃志水です。Fの制御室の遮へいについては、SA時の遮へい評価になります。
0:42:59	規制庁丹治です。なぜDBのほうの評価はしてなくて事故時において、今日本体施設の方でできるんだけどいうふうなところにも一応いられるような形で評価をした結果を示しますよっていうことでそれって何で示すんですしたっけな。南條っていうか、
0:43:23	規制庁とあれせ、制御室の常務の居住性評価とかで示すっていう話ですか。宮里社長がここに位置付けられるんですって話をされたんですけど。
0:43:32	日本原燃清水ですすみません。こちらの説明がまずくて申し訳ありません。清野制御室の条文要求を踏まえて、今回税務書類としてし、居住性の遮へいの評価を添付してございます。
0:43:47	とりあえず、なぜ遮へいの条文9はSASの条文で、本体だけじゃなくてその請求書の方でも説明するので、1でしたっけ、Bだったかもしれませんけど、とりあえずそっちで説明しますよってのが、今後示されるってことですかね。
0:44:04	はい。日本原燃、志水ですはい。今おっしゃっていただいた通りでBで、SAの制御室。
0:44:11	SAの除灰条文要求として、はい。お示しします。
0:44:15	ちょっとですね助教わかりました。
0:44:21	規制庁深見です。そしたら最初に言っていた番号前の話ですけど、えっと、
0:44:29	今回、昨日の夕方ですかね、出てきたものが、設備リストの番号とちゃんと合ってるっていうのは、どなたか確認されましたか。
0:44:45	はい。日本原燃、田仲野口。
0:44:49	登場するものについて確認させていただきます。
0:44:53	なぜかね、
0:44:59	藤規制庁カミデタナカさんが全部確認されたと。
0:45:05	日本原燃高久ちょっと全部が全部というわけではないですけども、こちらの分担して確認したような形にして、
0:45:14	規制庁カミデです。私が見る限りまだずれてるんですけど、
0:45:21	原燃の人たちは誰も全員も会ってるっていうことなんで、

0:45:25	ですか。
0:45:26	そういう認識なんですか。
0:45:47	はい、どうも日本原燃の蝦名です。すいません実情を話しますと、E x c e l の一の機能を使って全部企画して、
0:45:57	それで確認しているん。
0:46:00	というのが、現状のやったことになってます。はい。
0:46:07	規制庁カミデズエクセルで、
0:46:10	見るのか何なのか知らないですけど一つ一つ、
0:46:13	申請書で示した設備リストの番号と、今回の
0:46:19	資料の場も、
0:46:21	つき合わせましたっていいんですよね。
0:46:32	はい。日本原燃棚橋、改めて一つずつ確認させていただきたいと思いま す。
0:46:37	規制庁カミデズそういう昨日言ってたんで、
0:46:40	今言われてもあるんですよ。
0:46:44	してたのって話で、
0:46:48	何でずれるのかが不思議でならないんですね。
0:46:52	ちゃんと説明して欲しい。
0:46:57	そう。日本原燃田仲です。こちらの方も申請書の番号と、このずれが通 じてる場不足というところは先ほど申しあげました通りはこの
0:47:06	設備のと、登場しないで、今日が入ってるっていうところはわかりまし たのでそちらの方を補正した形でもう1回、
0:47:16	入力したという作業で、
0:47:20	いや、そんな図を外してなかったんです。
0:47:26	そうですね。自分たちでどういうふうに問題点を認識して、どういうふ うに解消して、どういうチェックをしたかというのを説明してくれて。 はい。昨日やった作業。日本原燃田仲です。昨日やった作業としまして は
0:47:41	今日月削除されて、降り直されてたということになりましたので、そち らの方にもう一度その行を戻すような形にして、適切な番号にして、そ れをもう1回
0:47:53	エクセルの計算を使って、もともと提出していったリストの方に番号を 振り直したというふうな作業をやっておりました。
0:48:05	あと、規制庁紙ベース。

0:48:08	ただ、物の管理として、番号を振り直すとかそういうことを、
0:48:13	気軽にやっちゃうのがよくないとかって思わないですか。
0:48:21	聖書は日本原燃田仲おっしゃる通り申請書でつけた番号をこの作業をするときにもう1回、改めて振り直してしまったというところがちょっと最初の大きい間違いであったというふうに思っております。
0:48:34	はい。規制庁上出です。
0:48:37	そういう管理をしてるから、そういう管理してるって、何かいろんなところが、
0:48:45	信用できなくなって全部隅々までデータを出せ移転させて、こっちはチェック機関じゃないといつもとても信用ができないから、全部しなきゃいけないとかってそういうことになっちゃうので、
0:48:57	きちんとデータ管理から、
0:49:01	番号の管理もそうですけどデータ管理もそうですけど、
0:49:07	何だろう、ちゃんとやってもらえますかってことなんですけど、いいですか。
0:49:14	はい。日本エヌエビナです。すいませんちょっといろいろ作業のやり方とか簡単にちょっと数字書きかえてしまうとかですね、ちょっとそこは不適切なやり方だと思ってましたんで、今一度確認してですね。
0:49:29	ちゃんと、正しい姿に戻したいと思います。以上です。
0:49:33	はい、規制庁パミスで。
0:49:36	あと、昨日そういう作業をした結果、
0:49:41	本当に大丈夫だよねっていうのを確認せずに、資料提示。
0:49:46	至ってるんですけど。
0:49:48	それもなんでそういう状況になっちゃうのか不思議なんですけど説明してもらっていいですか。
0:49:56	はい。日本原燃の中でそちらの方についても先ほど番号振り直して適切なものに置き換える際に、
0:50:04	エクセルの方の計算で、
0:50:07	振り直したというところを、私も聞き取って、一部ちょっと見て、それでOKとしてしまったところが間違いだったと思いましたので、これは一つ一つ見る必要があるというふうに、荒。
0:50:19	止めて考えを改めさせていただきます。
0:50:23	藤規制庁ヶ月、多分田中さんが全部見るのは大変で、
0:50:29	これから他の条文も出てくるのに、
0:50:32	とても1個1個見てらんないと思うんです。だから、

0:50:36	やるのは、
0:50:38	そういう抜取り管理で、
0:50:41	チェックができるという作業の仕方をしなきゃいけないんですよ。
0:50:45	もしくは
0:50:46	作業の仕方を踏まえてここを押さえておくまず大丈夫だろうっていうところをちゃんと
0:50:52	計画しないと、結局全部見てねっていう話になっちゃうんで、そうならないような方法を考えてくださいということなんですけど、よろしいですか。
0:51:04	はい。日本原燃棚田です。はい。おっしゃっていただいた通り、こちら
0:51:08	全部、全部のページ全部の番号というところ、確かにそれだと回らなくなってしまうのは、確かにその通りになりますので、こちらの方でうまく確認できる。
0:51:19	仕組みというか、そういうのを考えたいと思います。
0:51:24	はい。
0:51:26	お願いします。
0:51:28	あとは、
0:51:30	細かい話を、
0:51:32	行こうかなあとありますが、その前に、ページで言うとどの辺だろう。
0:51:44	10、
0:51:46	具体のリストに、17 ページぐらいまでで何かありかたがいれば、お願いします。
0:51:57	特になければ、ちょっと耐震の方で少し話をさせてください。
0:52:06	今朝のヒアリングでも話をしましたが、工事以外に変更がないかっていうので、
0:52:14	労働の評価は共管評価のやり方として変わってますよねっていうのが、
0:52:19	まずあったんですけど、あとモデルの変更とかがありましたね。
0:52:25	それ以外に何かこんなところ変わって、
0:52:28	ますとか、あげます。
0:52:42	はい。日本原燃田中です。こちらの方で昨日お出しさせていただいた耐震 56 条のリストの工事の有無というところについては、

0:52:54	耐震に関係する工事のものをピックアップしておりまして、その主だったところとしましては、サポートであったり耐震補強とそういうものに、整理してお出ししておりまして、それ以外のもの、
0:53:07	というところは、すみませんちょっともう一度見る必要あるかと思うんですけども、ちょっとなかったかなという。
0:53:16	と規制庁かベース。
0:53:19	どういう、
0:53:22	確認の仕方をやってかそもそも
0:53:26	何だろう、耐震補強と、あと評価が変わった道道みたいなところと、
0:53:31	あと何かモデルが変わったみたいな話されてましたけど、
0:53:35	そういう変更点他にありますかというのを、今、
0:53:41	聞いていて、
0:53:43	調べますけどないと思いますって言われてもよくわからなくてですね。
0:53:48	どういう発注をした結果、
0:53:53	各課から回答が来てないんでないと思いますって思ってるのか、ちょっとその辺、何でないと思えているのか、説明してもらえますか。
0:54:06	峯氏でございます。ないわけではないんです。大化けがなくて発注の仕方が、スタートを確認するに、
0:54:16	工事として、物をいじったものは何だと、それもいわゆる言い方は明らかに設備をいじったものはないんだと。
0:54:26	いう行き方です。これそういうものしか出てきてないです。
0:54:31	そういう意味で今日の朝もありましたけど、着眼点というか今後の設計の説明において累計をして説明しますなんていうことを考えたときに、
0:54:43	他に挙げるべきものがないかっていうのが最初の指示の段階で、すっぱり抜けているというのが状況だと思います。なので、タナカの口から、他にはないと思いますなんてことはいえるわけもなく、
0:54:55	他にあるんです答えとしては、はい。
0:54:58	はい、規制庁カミデそうだと思いますし、ちゃんとその目的意識を持ってちゃんと、
0:55:06	また発注をしてから、
0:55:08	教えてください。
0:55:11	あとですね。
0:55:12	最初にもちょっと話をしましたけど設備リストでその設備リスト自体が間違えてた。
0:55:19	変更種別が、

0:55:22	本当は改造等で新設って書いちゃってましたっていうことなんですけど、そういう様からすると、
0:55:31	ポツに入ってくるのは設備リスト上全部新規のフラグが立っ立つように、最終的にはなっていくってことで理解していいんですか。
0:55:42	I T本部西浦でございますはい。今回見た上で、間違っているものは見つけた上で、が直し、最終的に出すものは当然新規のフラグが立ったものが出ていくということです。
0:55:56	今回のやつで新規のフラグが立ってないものはほかにも当然ありまして、
0:56:02	制御室の要求で出てくる外部監視カメラ、これも既設になってます設備率上なので今回フラグを変えてますのでそういうものがちゃんと是正されたものが出ていくということです。
0:56:16	はい。正当化別わかりますよろしくお願いします。今だから、逆に言うと、改造って断ってるものが、湾に入ったりビーチに入って、
0:56:26	Bに入ってたっていうところがあるんですけど、
0:56:29	そこは綺麗になるという形で、1回しました。
0:56:34	あとは、
0:56:41	今、昨日の段階で
0:56:44	評価条件とか関係なくて、物をいじっています。要は、
0:56:49	耐震補強とかしたものをっていうことで
0:56:54	チェックをした結果が、
0:56:58	出てきてると。
0:57:00	てましたが、57 ページ等、
0:57:08	57 ページの一番上に、これ管理施設のガラス固化体貯蔵建屋が、トラスの屋根トラスの補強工事やってますっていうので、
0:57:18	工事のフラップ建って、で、
0:57:22	私の記憶だと、
0:57:24	再処理の
0:57:26	K B。
0:57:29	K B E から、東藤狩野から、ガラス固化建屋の日東とかの今回の
0:57:35	入ってる。
0:57:36	同じような構造で、それもう、
0:57:39	屋根トラスの補強が要るということになっていたんじゃないかなあと記憶してるんですけど、どうでしたっけ。

0:57:48	阿南なんですけど、今改造の蔵田ってないんですけど、
0:57:52	実際どうでしたっけ。
0:57:57	イニシャルファクターはまず調べさせます至急、
0:58:03	確かにトラスの故郷の話にしてて、
0:58:08	私も伊井の方は覚えてるんですけど同じ構造の形の方を、いや、
0:58:14	るっていうフラグが、
0:58:16	立ってなかったような記憶もあるんですけど。
0:58:19	麻生。
0:58:21	若山ちょっとぱつと言えよ調べた上で事実に沿った形で示させていただきます。以上です。
0:58:29	規制庁、丹治です。
0:58:31	さかのぼってみると、
0:58:33	設工認は1回出てきて取り下げてるんですよ。
0:58:37	なんでやってると思う。
0:58:40	ただ、申請書を見ても、
0:58:42	補強したとも何も書いてない
0:58:44	耐震計算書出てたんで、
0:58:47	もしかしたらよ。
0:58:48	なのかなっていう。
0:58:51	とりあえずしゃべってください。
0:59:00	はい、規制庁金光です。それで、もともと、
0:59:04	今日のヒアリングって、その資料が不十分な中でも、実態わかってる人が一応出てもらって、こうしますって話は聞けるっていう話ではあったと思うんです。なんですけど、
0:59:16	最初もう、
0:59:17	ヒアリング参加者の紹介でもこれタナカさんだけってなって、仲さんかわいそうだなと思ってるんですけど、他の人って、
0:59:27	なくてよかったんですよ。
0:59:31	植野石原でございます。
0:59:34	ウイングは相当言います。他の課もいますんで、高木ましたけど他もあのメンバーがそろってますと言いながら今ね不足できなかったんで建築関係の絡みのやつが、

0:59:45	今いないところもあって抜けはありますけど少なく設備を笑声部署は、当然そう思ってますので、そういう部分での回答はできると思ってます。以上です。
0:59:56	はい。規制庁上出です。わかりました。想像してた感じとは、
1:00:01	よりは、まともそうでしたけど目的は果たせてない。
1:00:05	感じですね。はい。
1:00:08	す。今私ピンポイントD、確かこれ補強あったよなあというので、
1:00:20	一応、
1:00:21	抜けがあるんじゃないかって言いましたけど、
1:00:23	それ以外に本当に抜けがないかって言うのがわからなくてですね、っていうのはその設備リストも今信用ならんし、
1:00:31	耐震計算書も変更点が明示されていないから、終わってんのかどうかもわからないっていう中、
1:00:38	皆さん、
1:00:40	どうやってこれ、
1:00:41	例えば新規だったり工事だったり、もうこれ以外ないって、覚えているのかっていう説明してもらえます。
1:00:54	はい。日本原燃田仲です。こちらの方としましては工事を所管してる部署から聞き取り、
1:01:01	なり調査しましてその結果を反映している状況です。そういう意味でいうと今おっしゃっていただいた通り、本当に抜けがあるかないかという点で言うと、
1:01:12	もう一週ぐらい、
1:01:16	そういう意味で本当にないのかっていう意味で、最終確認というのも、やらなければいけないかなというふうに、
1:01:27	そうですねそういう意味でいうと今後どういうふうな説明をしていくかというところを踏まえて、又工事の件名が抜け漏れなく、
1:01:37	拾えているかどうかというふうにあって、一生懸命設計とか改造でマンション以外改造契約書出てこないんだっけね。
1:01:49	実際やってる改造ってどうやって調べるの自分たち、
1:01:56	言ってんだったらそれやるしかないと。
1:01:59	いやもう要領書までさかのぼって全部調べるってことで、もう、
1:02:03	それで抜けなく全部上げてくれって言う調べ方をしないと、同じことも一緒やっても答え一緒や。
1:02:13	はい。はい。はい。そういう意味でいうと工事の要領書。

1:02:17	単位でどういじってるかどうかっていうのを、再精査して、こちらの方の工事の方の数の母集団というものを確定させる必要があるかというふうに思います。
1:02:29	規制庁亀井です。改めて説明する。
1:02:33	ことになると思うんですけど、
1:02:37	まず、
1:02:38	今の話でいうと日本原燃の印象っていうの体制として、改造工事を行うものはすべてこういう登録になって実は安重だけなのかもしれないですけど、
1:02:52	まず安重についてはこういう要領書を作るだとかっていうのが、決まりがあって、だから
1:03:01	計画書なりを、
1:03:02	やるともうすべて網羅的に、
1:03:04	いじったものをいじているものは絶対ここに記録があるんだという背景から説明してもらってそこと突合したから大丈夫ですって言ってもらえると、ああそうなのかってこっちが思えるんですよ。
1:03:17	なので、各課に本当かって聞きましたっていう話じゃなくて、そういう調べ方として、こういう調べ方をしたんだと。
1:03:28	その背景には、原燃としてはこういうものの管理をしてるんだと。
1:03:33	いうところを含め、含めてちゃんと網羅的にやったんだっていうのが、こちらもわかるように説明して欲しいんですけど、大丈夫。
1:03:42	はい。井手西浦でございます。はい。当然ながら、施設の維持管理の中でのルールもありますので、工事を実際実施するんであれば書類としてこういうものを作らなきゃいけないと。
1:03:55	いうのもあります。そういう体系をもとに、何を調べるかというのを、抜け漏れなく抽出をしてそれをターゲットを絞ってやると。
1:04:06	先ほど私がちょっと打ち出した改造計画書とか安全しか出てこなかったりするので、実際安全以外のものも拾えるように、工事要領をまでさかのぼれば、すべての工事の案件が拾えるということ。
1:04:18	それで、多分いろいろとその上で調べなきゃいけないのが、多分、期間の話であったり、対象物が実際、その工事要領単位で見たときには、
1:04:31	今回の申請対象設備の中に入っているもの以外のものも所長としては入ってくる可能性があるんで、そういうの中を見て、必要なものをピックアップするという作業があると思ってます。

1:04:42	全体像をちゃんと押さえた上で、その中で特別の関係で中止するものを、
1:04:49	抜け漏れなく選択をするという作業ができれば、これが全体ですという説明ができると思ってます。以上です。
1:04:57	はい。規制庁河辺です。よろしくお願いします。
1:05:03	今も工事終わってる前提で話をしていますが、実際 95%ぐらい終わってるというので、ほとんどそれで拾えるんですけどこれからやるものもあるし、
1:05:12	いうこともあってそれはじゃあこれを見ますということ安全以外はこうやって見ていけばいいでしょう。
1:05:19	いうことを
1:05:21	全体網羅的にちゃんとアンドで整理をして、
1:05:24	それがないと、各課に発注本当は出せないはずなんで、
1:05:28	なんでしっかりやってください。
1:05:34	よろしいですか。はい。
1:05:37	はい。表現でタナカで承知いたしました。
1:05:40	はい。規制庁、伊勢です。絶えず私の方から、
1:05:46	のっとして、
1:05:49	はい。これぐらいにしておきます。
1:05:55	規制庁の谷です。これ、耐震の方で他に何かある方おられますか。
1:06:01	竜巻に僕だと言っちゃうので、
1:06:07	茶谷です。ちょっと例えばキーの方も含めてなんですけど、
1:06:12	朝朝も少しお聞きしたんですけど、
1:06:15	耐震と竜巻で、
1:06:18	例えばAの新規に設置するものって母集団の数は変わらない気がするんですけどサブって何と言われてるんですけど。
1:06:26	はい日本原燃田仲です。こちらの56条と八条の方の区分の方の数字で言いますと、再処理施設の方を例にとりますと
1:06:36	竜巻の方でいうと防護たいし対策設備です。
1:06:41	そういう差分が出る分類をちゃんと介護策が出る分類としましては、八条の方だと多めに出ておりましてそちらの方の差分としましては、
1:06:53	耐震クラスの設計が設定されないものというのは、56条の方ではカウントされておりません。例えば、消火器であったり、可搬型の酸素濃度計とかそういうものは、

1:07:04	歩道六条にはなくて、八条側にはカウントされるというようなことになっておりますので、車差分が生じているような状況でございます。
1:07:14	規制庁田尻です。過半はわかるんですけどでしょうか。
1:07:18	耐震クラスなんでしたっけ。
1:07:24	日本原燃田仲です。すいません、消化器です。はい。
1:07:29	規制庁、丹治です。昇降機って設備登録してんでしたっけ。
1:07:35	はい。
1:07:36	設備登録はしております耐震クラスが設定されていないようなそういう分類になっております。
1:07:41	規制庁、館です。小口径は安全機能を有する施設ですか。
1:07:58	ちょっとお待ちください。すいません。
1:08:08	規制庁丹治です。起きたら単純で、竜巻のところで出てくるやつは今日安全機能を有する施設Ⅱが出てきてるもんだと思っていて、安全機能を有する施設だったらSだろうがBトガシだろうが何かしらついてるものかなと思ったんで、その差分がどうやって生まれたんですかっていうのを聞きたいだけなんですけど。
1:08:39	えっと、日本原燃田仲です。そういう意味で言いますとこちらの方のリスク、消化器についても、安全機能を有する施設という、
1:08:48	上に整理しております。
1:08:50	ちょっと事実、安全機能を有する施設で、耐震のクラス切っているんでしたっけ。
1:08:56	室長紙です。
1:08:58	粉末の収納管とかと同じ扱ってことですね。要は、
1:09:03	普通のか、
1:09:05	ポータブルの消火器で確認かけてるだけだからっていうことを、
1:09:11	はい、日本ギリシャでございますおっしゃっていただいている通り同じ差分を見たときに、竜巻と耐震の56条で、B1入ってる母集団、SBCの母集団を足しても、
1:09:26	B2D竜巻で入ってる母集団1万4000円とても追いつかず、BとCのクラスのBを持たしてもとてもいかない。差分は何かと言われると、容器です。
1:09:36	耐震クラスがカウントされてないバーになっているという形。これも安全機能を有する施設でカウントされているので、そういう意味で、必ず一致するというわけではないということです。以上です。

1:09:46	規制庁谷です。なんで固定されてないものに関しては耐震の方でプラス入れてないのでっていうのが差分ということだと思っんですけど。
1:09:54	今話出てきた容器の話なんですけど、
1:09:58	右下で言うと 141 ページぐらいのところ
1:10:03	ウランの酸化物どう容器とか 4000 とか、貯蔵バスケットで 1000 とかもいろいろ登録されてるんですけど、
1:10:09	これ全部の数を書くやつ等書かないやつの差って何ですかね何か一式でとらえるやつと、
1:10:14	何か事細かに書くやつって何か仕様表に書かないことなんですか。
1:10:21	ここにある四つぐらいの容器系のやつだけで 1 万 2000 円ぐらい行くんですけど。
1:10:27	はい。人間ですね。
1:10:39	安保っていうのは、うん。
1:10:40	はい、日本イシハラでございます。おっしゃっていただいている通り、よければ、ハンディーの容器ですね、これ全部カウントするかというと多分、一色になってるやつ。
1:10:52	稲井全部数えて、
1:10:54	うん。全部、
1:10:59	まず、一般の方から申し上げます。仕様表に書く、もしくは何らかの設計要件を生じるもの。
1:11:09	例えばガラス固化体の容器のように、閉じ込めの要求が数とかですねそういったものは、数としての検査も含めて、要件として必要になるので、数を書くと、
1:11:21	教授会制をMOXの場合でいくと、劣化ウランを入れる容器はカウント書いてません。もともと一色です。ただMOXをいえるものは容器としてカウントするというような、本来なら一般的にはですね差別化をして、容器の数は各というのが考え方だと思います。
1:11:39	ただ最初には多分全部ばか正直に書いてると思います今数なので、その考え方に何か差分があるかというところだと答えは最初の場合はどうです。はい。
1:11:49	規制庁谷です。何で使用相場で登録してるようなやつはとりあえず意識の数を書こうとされているというところかと思っんですけど。
1:11:58	ちょっとすいません仕様表を見てきてないんで自信がないんですけど、この間まで管理がパークケアのか、廃棄物管理施設の方が数百数が書かれて今回 4 期とかに直されたのは、

1:12:08	収納%とか中じゃなくてピット数で数えたからだと思うんですけど、
1:12:12	あそこはピットで数えるのが正しいんですけど、通風管とか収納管とかの方。
1:12:18	はい。これも
1:12:23	だから申し上げ、
1:12:28	設置、
1:12:29	はい。
1:12:32	大分、二重になるので、はい日本イシハラでございますこれもまず一般的な考え方からいきますと、設計としてなお優待みたいかということで決まってくると思います。
1:12:43	収納課一本一本っていうことで県警を見に行くっていう場合であれば、一本一本の数が入りますけども、エリアとして、気圧差だったり何なり見に行きますっていう話であれば、その集合区域の数があれば、
1:12:57	十分設計として説明する範囲が達成できるということで一つ一つ書く必要はないかなと思います。あとは仕様表とかで数をどう書くかっていうところにもかかってくると思いますけどそういうことを考えた上で、この数として何を書かなければいけないかが決まってくるかなと思います。以上です。
1:13:15	規制庁谷です。今おっしゃられるようにどう変えていくかのルールがな、あって、そう書いてきますよっていうので、別に構わないんですけどそのルールっていうのは決まってると思っていいですかね。
1:13:27	今のお話だ等、
1:13:31	どの単位で評価とか設計を見るかっていう話なんですかね。
1:13:39	はい。日本原燃車でございます。今からですけど、出せます。決まっていないから、再処理終了区域の数書いて、
1:13:49	いい施設で、収納管1本1本の数出して320本で各幅になったはずなので、そこはルールをちゃんと決めて、その数にするということにさせていただきます。以上です。
1:14:01	はい。規制庁樽井です。今おっしゃられるように、ほぼ同じ施設の考え方が再処理施設と廃棄物管理施設でずれた時点であまりルールがない部分があるんだと思うので、
1:14:11	ここに限った話でもないような気がするのでちゃんとルールを決めた上でカウントしていただかないと、
1:14:18	以前のときも、何か数え方のルールを変えたら数千ずれましたとか数百ずれましたとかよくやられたと思うんですけど、あれをさすがに何回も

	もうやれないので、その点は認識していただいた上で数えていただければと思います。
1:14:36	はい、稲毛西原でございます承知いたしました。
1:14:39	規制庁谷です。ちょっと細かな部分含めてなんですけど103ページからで竜巻の話が書いてあって、
1:14:46	Aのところやや忍びていて、
1:14:48	評価対象としてカウントする田尾小谷野と書いてあって、建屋に収納する設備はB2で建物としてカウントっていうのがあるんですけど、
1:14:56	これっていうのは、AのものでもB2って言いたいんですが、これ単に評価対象が建物だっていう話をしてんですかね。
1:15:06	はい、日本イシハラでございます。書いた人間でございます評価対象が建物だと言ってるだけです。なので、評価しなきゃいけない個別具体の対象物として、
1:15:17	の中に入ってもカウントされないものがありますよ、評価対象としてカウントされないものがありますよということが言いたいですのでBにカウントしますわちょっとだ。
1:15:27	蛇足だったかもしれませんが。以上です。はい。規制庁鳥居です。
1:15:31	わかりやすく書いていただければというところと、
1:15:34	あとこっちも細かいんですけど、エセナ防護対象のところ評価対象が256は、Dで固縛対象が218ってなってるんですけど、この差分っていうのは何の機器でしたっけ、あの表を見ればわかるんだろうなと思いつつなんですけど。
1:15:51	建屋とかそっち系とか粉体とか保管所とかそっち系の話ですかね。
1:15:57	はい。日本原燃田仲です。その通りでございます。
1:16:00	はい規制庁タジリ菅湖ありました。これって、
1:16:04	TBSの兼用の奥歯載っているんですけど。
1:16:22	すいません。日本原燃田仲です。
1:16:25	屋外の件はございません。
1:16:27	ちょっとあります。なんで今おっしゃられたようにSAとして新規に屋外に設置したものが、鼓膜以外のところが二百五十六、七百218分いるってことですね。
1:16:39	日本原燃田仲ではいその通りでございます。はい。規制庁鳥居です。
1:16:44	あと細かい話続いて恐縮なんですけど104ページとかいったときなんですけど、
1:16:49	数量の数え方っていうのもう1名がルールあるんだと思うんですけど、

1:16:54	数字書いたり意識とか書いたりするやつがいるのは、何か前から、あんまり医師ないようにはしてるんですけど、下から2行目とかのところ例えば飛来物防護板っていうふうに言った時、何とかグループ何とかブロックっていうふうな形で書いてるんですけど、
1:17:07	これ、建屋についてる板を意識っていうふうにとらえるのが基本ってことでしたっけ。
1:17:18	はい。
1:17:20	はい今おっしゃっていただいた通りこの医療用電源建屋についているものを一式で書いてるんですが数量がいまいちとなっていてちょっとそこはちゃんと記載のルールをしっかりと
1:17:30	定めて、はい。横並び取りたいと思います。
1:17:35	はい。規制庁田尻です。その下の冷却塔接続の屋外設備っゆうやつも、冷却と六ヶ所あるけどどこの話っていうのも何かよくわからなかったりするんで、
1:17:43	意識っていうのが何か把握されても困るじゃ困るんですけど、数が何を指してるのかわかるようにしていただければっていうのと、
1:17:51	あと防護板の絡みでもう1点聞いておきたいんですけど、建屋のところの工事のところ扉を工事しますよってやつが多々あるんですけど、
1:18:00	あれは、防護扉と防護扉とか防護板っていう整理ではなくて建屋なんでしたっけ。
1:18:08	日本原燃清水です。はい今我々の整理としては建屋の一部ということで整理させていただいております。
1:18:14	規制庁谷です。御社だとあんまないのかもしれないんですけど、例えばどこかで防水と浸水扉とか入口んところにやろうとするとそれ単体で登録するようなイメージがあるんですけど、
1:18:24	建屋を範囲ってどういうふうに整理してでしたっけ。
1:18:31	日本原燃者でございます。おっしゃる通りの電力さんみたいに津波を考えなきゃいけないときは、浸水防護のための設備がエントリーをされたりして、区分が、
1:18:45	ダブルになるとか、そういうのがあるかもしれませんが、今回、第1回でのMOXの建屋の境界も含めた建屋の範囲というかですね、のことも含めて、建屋の建具である扉も、建屋の一部として確認カウントすると。

1:19:00	いう形でさせていただいています。これは他の設備区分で登場するものがないというのが前提でこういう整理をさせていただきました。以上です。
1:19:09	はい。生協谷井です。セットした最初からやつだとそこまで思わないんですけど、要は買い切れないから対策として公開しますよとかっていうのが結構何ヶ所かの建屋であったので、
1:19:21	それを建屋って言うのかなってというのが気になったところなんですけどあれは防護対策設備になるんですかねそれとも建屋だ、建屋江藤評価対象が耐えられるっていう方のここで説明しようとするでしたっけ。
1:19:36	はい。弓削西原でございます。確かですね扉交換したのは安重が建屋になっていて、建物そのものが防護対象です。
1:19:45	防護対象に対しては、飛来物からの衝突荷重に対して、貫通だったり、裏面剥離だったり起こさないということが設計方針にあってそれを防止するための
1:19:58	対策として、扉を交換しましたということなので、
1:20:02	建屋に対する設計方針の達成のために、交換作業が発生したと、いうことだと整理をしました。以上です。はい、規制庁田尻です。何で今日、建屋のプロパーの構造物の壁であるとか問い合わせるとかっていうのが、補強したとしても、建屋の意思としてとらえて、
1:20:20	ただその外側に防護板つけるような場合は建屋も動いたみたいない形で設計と設備の登録をするっていうことでいいですかね。
1:20:29	はい。日本原燃瀬谷でございますはい。おっしゃっていただいたような整理だと思ってました。はい。
1:20:34	はい規制庁タジリです竜巻の作業を審査していくときには、その貫通とかがどの分類で説明されてるかとかを見ていく形になるんですけど、今のお話だと建屋を一周という形で説明されてくんだと思うので、資料がそれと整合してるかっていうのを整理しといていただければと思います。
1:20:52	はい、二本木西田でございます承知いたしました。
1:20:56	ちょっとです後すいません共通12との兼ね合いもちょっとあるんですけど、共通中にタカハシカメラの話書いてると思うんですけど制御室の要求のところで奥がちゃんと見えるようになっていっているので、
1:21:07	一応耐震で変えなきゃいけなかったりとかいろいろあったりすると思うんですけど、あれは構造を示すものの整理って何でしたっけ、新しく設置するものであればすべからくなんですかね。

1:21:19	はい。今の、日本原燃清水です。共通 12 の整理におきましては、
1:21:25	まずはカメラとしては新設しているものなので新設の分類になります。すいませんここの分類のところ、今お出ししてる資料としては、
1:21:35	外部衝撃、頭の中に含めて、今、カメラの方をまとめてご説明するというので分類してます。一応カメラにつきましては屋外の
1:21:47	外部火災の状況を見るという関連もあるということで今、外部衝撃というグルーピングの中で整理させていただきました。規制庁鳥居ですけど。
1:22:04	はい。与儀西田でございます。あそこに共通上にですね外部カメラを入れて、今言われたようなあなたたち構造あそこで一生懸命説明するつもりですかって話だと思うんですけど。
1:22:16	そこはおっしゃっていただいたようにすぐあそこにエントリーしたものがすべて構造を示すことに今になってないと思ってまして、例えば火災だったら、R I P 一般的にあるような感知器であれば、
1:22:27	構造はそこで説明しなくても火災でやればいいんじゃないかというのもあって、リスト化しましょうリストだけ示しましょうかみたいなのもあると思ってます。実際あとは外部カメラに対して、
1:22:39	耐震に対して耐えます、あと外部の監視ができるような構造にしますとか、カメラの性能自体は別に、共通 12 で扱う必要もないと。
1:22:49	じゃあ、耐震の構造として何かのカメラをわざわざ構造出して説明する必要があるかっていうと、固定したものとしての、普通的设计方針として、そういうものに耐えるような設計にしますっていうことで、構造の部隊は耐震側で示しますっていうやり方も、
1:23:04	あるんじゃないかな、添付 2 構造もついてますしそれ以上何か付加するものがあるかっていうのも含めて、整理をしていければと思ってました。現状項目立ててますけどそこまでちょっと、
1:23:15	シミズで整理したところも整理ができてないのでそこをきっちり整理した上で、頭の部分に各会計、お示しできればと思ってます。以上です。
1:23:24	規制庁田尻です。
1:23:26	結局のところ新規物について構造示しますよって言った時に何か中途半端になんかあそこにいるような気がしているのが気になってるところなので、竜巻とこの新規で書いてあるやつ、防護対策で 15 防護対象で 4 あできるいう水深 348 やって性とかに行くと、やたらめったらってって形になっていて、

1:23:44	要は開放でこれ整理してるのは、もれなくちゃんと見ていきますよって いう整理のためだと思っていて、今時点では示されていないんですけど、 この対象となるものを、AとかB2とかに分類されてる中で、
1:23:58	こういったものに関してはグループ化してこう説明しますよっていうの が、今後の社長の流れなんだと思ってるので、それに一応共通中にも 絡んでくるんだと思ってるんですけど。
1:24:08	すいませんそもそもその認識合ってますかね。
1:24:12	はい、二本木西田でございますはい。認識は合っておりますそういう形 になってないのもわかってます。数として示さなきゃいけないものはも ともとのスタートとしては今できてないですけど、
1:24:24	今後、我々がどういう設計を、どういう分類で説明していくかと。
1:24:29	いうことをちゃんと見える化すると、いうことだと思ってます。
1:24:32	あとそれぞれの設計で説明すべきものが一体何個あるんだという全体像 がわかるということも含めて整理が必要だと思ってますので、共通にも その内数だと思ってます。
1:24:43	そういうことを整理した上で、目的をきっちりしていきたいと思いま す。以上です。
1:24:48	はい、規制庁と人数、現時点だと、まだ耐震と竜巻しか出てきてないの で、実は他の条文でそこもちゃんとわかるようになってますって可能性 もあるかもしれないんですけど、
1:24:59	先ほどお伝えしたように、
1:25:02	それぞれパラでやって、作業としてやられると、目的意識よくわからな くなってまた何か変な方向へ行くような気がするので、
1:25:10	それぞれ一応繋がっていて、意味を何、何でやってるのかっていうのを 理解した上で作業していただいた方がいいと思ってるので、その点はす いません、現在作業されてる方も含めて、認識共有いただければと思い ます。
1:25:25	はい。日本原燃清水です。了解いたしました。
1:25:28	はい。規制庁鳥井です。あと、これも以前からの話ではあるんですけ ど、
1:25:33	設備リスト上はもはや仕方ないと思ってるんですけど、機器名称が同じ やつがちゃんと並ぶやつは結局全然の中においては判別がつくんですか ね。

1:25:46	はい。元タナカです機器名称が、確かに同じものが並ぶことっていうのはございますが備考欄等にですね、機器番号等を入れて、識別できるように工夫しておりました。
1:26:01	規制庁館です。何で今されてないんで、このリスト上で書かれてないですねっていうのがあってD性とかに行くと、そういう今言われたように括弧書きで番号とか書いてあるやつだったんですけど、
1:26:11	例えば今右下 106 ページとかのところで火災系の配管とかいろいろ並べたりしてるんですけど、特に備考欄書いてないっていうのもあったのでお聞きしたんですけど。
1:26:20	何か形で話されたんですけどそれは、設備リストの方でなってるからっていうことですかね。
1:26:26	ニューメディアでございますタナカ 1 の設備室でそうなってます。説明なんですけどこのリスト上例えばもともと設置場所とかを明らかにすれば、対象物が特定できますとかっていう説明をしたものと、
1:26:38	それがちゃんとこのリスト上もわかるようになってますかという質問からいくとどうなので、それがわかるようにさせていただきます。以上です。カミデですけど。
1:26:47	番号が設備リストとひもづいてるんだからあとは設備リストを見てくれるかわかります話でも、
1:26:54	話は通じるような気がします、いかがなんでしょうか。
1:26:58	今もあたり、
1:27:05	はい。はい。このリストでそもそも何を示したいかも含めて整理をして、それは大前提は、リストと番号が合ってるっていうのが前提ですけどもそれも含めて、
1:27:19	先ほどから他の資料でもありますこれの資料の目的をはっきりさせて、その目的に合致した、示し方になります。以上です。
1:27:28	はい、規制庁鏡さん、あんまり
1:27:32	設備リストと違うことを書かないほうがいいんじゃないかなっていう気はしてて今一番右側のABはB t o Bみたいなのは、
1:27:43	設備実装にならない情報なのでつけ足しますんですけど、それ以外、
1:27:49	どっちかっていうと、備考欄も、もしつけるんだったら一番
1:27:54	右側にして設備リストの備考とは違うんだっていうのはわかればいいのかもしいんですけど、
1:28:00	備考欄もあるとあって、

1:28:04	さらに設備リストと中身が違っていると混乱を生じそうな感じもしますから、基本的には、設備リストを出発点にして、下整理なんだと。
1:28:15	いうところが
1:28:17	やや例は、経過はわからないんだ。
1:28:20	何、
1:28:23	整合本当に整合してるのかっていう疑念が生じないようにですね、慎重に整理してもらえればと。
1:28:32	どこかでその判決がつくようになってますよとか言ってくれればいいんですけど、現状多分設備リストの備考欄って、何でもどれでも書いてあるわけじゃなくて、多分幾つかのやつに書いてあるぐらいの話をされてる気がするので、
1:28:47	少なくとも同じ名前と同じ建屋左側全部同じ項目で小浦が空欄のやつとかも幾らでもあったような気がするので、
1:28:55	設備リストを整理されてるのかどこ整理されてるのかわかんないですけど、少なくとも原燃内でちゃんと半分ついてるんですよっていうぐらいはわかるようにしていただければと思います。
1:29:07	はい、江村山内承知いたしました。
1:29:10	規制庁館です。
1:29:12	これは単に確認なんて121ページのところというのは備考欄で固縛対象の話書かれていて、各対象が多分端数ですっていう風が書かれてるんですけどこれは数は建屋内床に入ってるからっていうことですかね。
1:29:28	はい。日本原燃の中ではその通りでございます。
1:29:31	規制庁谷です。その前こいつは評価対象なんですか。
1:29:41	はい、日本原燃田仲です。
1:29:43	この評価対象として一旦土俵に上げて、それが建物の中にあるかないかということで判別しておりますので、評価対象ということにしております。
1:29:55	規制庁武居です。すいません。ちょっと意図がよくわかんなかったんですけど評価対象って言ったけど、評価しないやつがいるってこと。
1:30:09	はい。日本原燃田仲です。おっしゃる通り、固縛の評価を行わないものもでございます。
1:30:18	規制庁大谷です。すいません。何かやりとりがうまくいってなくて申し訳ないけど、この評価を要は評価対象設備であるっていうふうになったら、何かしらそいつが耐えられるかどうかとか転倒しないかどうかの評価があるんだと思うんですけど。

1:30:32	建屋内にいるんだったらそもそも建屋が評価対象とか何かで関係ない形になると思うんですけど、今言われたのは、固縛をしなくても耐えられるから評価をしてないとかって話ですか何か。
1:30:43	最初聞いたのは、建屋内にいるやつ除いてるんですかっていう話でイエスって言われたんで、そうするとそもそも評価対象じゃないのか、ないのではっていうふうに聞いたんですけど。
1:30:53	日本原燃石原でございますこれ8って書いてる農地、イオンが例えば建屋の中に、4基が外部コンテナにいる。
1:31:03	場合に、固縛対象は外部コンテナ側に入っているものが固縛対象ですという答えになってその部分の数を書いているということです。設置場所も含めて
1:31:14	別々上も非常にわかりづらくて
1:31:17	分散配置とか代替設備も含めて同じ設備区分同じ設備の名称で、8って書いてあるのはそういう内訳があるものを仕分けをしたということです。以上です。
1:31:27	規制庁谷です。なんで評価対象として登録されてるものが側としては存在してなくて、ここに書かれてるやつの付随設備みたいな形でコンテナってのが登録されてるんだけど、
1:31:39	ここでそれを書くしかない形になっていて、ただそれ自体を固縛するわけじゃないからっていうことで書いてるんですかね。
1:31:46	そうですねはい日本イシハラでございます。おっしゃる通りでございます。
1:31:49	規制庁谷です。その場合コンテナっていうのは固縛しないってことでしたっけ。
1:32:15	はい。日本イシハラでございます。はい。
1:32:18	これもちゃんと事実を整理してお答えできるし、多分設備リスト上外部コンテナが入ってない。
1:32:25	設備としてエントリーじゃなくて、外部保管エリアといういわゆる、
1:32:30	場所を指定してるだけで設備としては中に入っている設備が登録されていると、いうことだと思ってますので、そういうことも整理をしていかないといけないかなと思います以上です。
1:32:41	はい規制庁タジリです。基本的な中に入ってる設備で登録されてる気がせいはいるんですけど、単にさっき固縛対象218基っていうふうにしたやつで、

1:32:54	要はコンテナだけ入ってるやつとかだとまとめて、ここ2人自己評価とかしてるから実は218個の評価結果があるっていうわけでもなさそうな気配を感じてるんですけど。
1:33:03	結局何も出てくんのよっていうのと、例えば合わなくなってよくわかんなくなるのも嫌なので、
1:33:08	まとめてコンテナで評価してますよっていうのがあるんだったらそこはそこで、別にこの資料じゃなくても、どっかさらに1個変えとかいう支弁と別に構わないんですけど、
1:33:19	今日、1回整理したら、この会合での数であるとか、このリストに基づきながら今後確認してくことになると思ってるので、
1:33:28	ずれないで欲しい数が、
1:33:33	はい、弓削西田でございますそういう意味ではおっしゃっていただいている通りだと思います今後の説明、評価なりの説明、設計方針の説明の中の分類と
1:33:44	整合がとれるように、これの書き方を整理をすることだと思っておりますので対応させていただきます。
1:33:51	はい。規制庁田井ですよろしくお願ひします。あと1点だけなんですけど、これ、何か同じようなやつを何回もつけてる一と思うんですけど、多分防護対象のリストを1回全部つけた上で、そこから評価対象だけ抜き出したものをもう1回つけたりしてると思うんですけど。
1:34:06	そこに書いてる人って何かあるんですかね。単に評価対象ってこれですよって評価対象の防護対象ってこちらですよとかってやってしまえば、何かいちいちこんなページくらい膨れ上がることもないかなっていう気はしたんですけど。
1:34:21	はい。おっしゃっていただいている通りだと、十分わかってます。はい。隣にマルつけばいいじゃんっていうのだと思うので、今完全にかぶってるのわかって表をつけてます。
1:34:32	正直あまり多くを求めると、とんでもないことになりそうだったので、そういう形にしましたでやりたいことはおっしゃっている形です。
1:34:40	防護対象母集団で一番大きい方の母集団に対してのリストをつけて、それに対して、内訳がわかるようにということで、同じものがあまり高く出てこないようにしたいというのが、もともと目指していたところでした。以上です。
1:34:55	はい、規制庁と実数は変わりません。今綺麗にしてる途中ですよっていうぐらいで認識しておくことにします

1:35:02	ちなみに、何か区分が同じでも何か何かが出てくる設備とかいる気がする るので、その点もついでに整理いただければと思います。
1:35:12	違う、これは防護対象と。
1:35:15	そうですね評価対象と言っちゃえば同じ名前が何回もやってるだけ でした。そういった点もわかるようにはしていただければと思うので、少 なくとも大体見せないようにできるだけ広げとってということ認識をい たしました。自分からは以上です。
1:35:35	規制庁、志水ほか、規制庁側から確認等ございますでしょうか。
1:35:41	規制庁かです。ちょっと軽微の話ではあるんですが、ちょこちょこ数量 ゼロってなってるものがある、
1:35:48	それっておそらく第1回の申請対象もリスト上は入ってきてるけど、数 量をエクセルで数えるときに入れたくないからとかそういう理由でし よ。
1:35:58	はい、日本ギリシャでございます。はい、おっしゃる通りです。抜けと 言ったのに入っているというまたこれもね、ちゃんとチェックしろって 話だと思います。はい。対応させていただきます。
1:36:08	はい規制庁がですね一応これもヒアリング資料ということで、外向け資 料なので、ちょっとわかりづらいところとか、また、今おっしゃったよ うに精査いただければと思います。以上です。
1:36:23	か、規制庁は泊にございますでしょうか。
1:36:27	規制庁カミデです。耐震のところちょっと聞き忘れたんですけど、
1:36:33	今回、
1:36:35	耐震側のA、
1:36:37	新規については、
1:36:39	施設した冷却塔は入ってきますねと。
1:36:42	ということなんですけど。
1:36:45	移設される。
1:36:46	元は、一生に1建屋の屋上にあつたわけですね。で、前処理建屋側から 見ると、
1:36:55	屋上に載ってた冷却塔がいなくなったと。
1:36:59	ということで、根井。
1:37:02	重さが変わっていると、ということなんですけど、その場合前処理って、
1:37:08	改造だったり設計変更っていう扱いになるんですかね。

1:37:17	はい。日本原燃石田でございます。おっしゃってる意味は理解をします。あとは、今、もともとそうですね既認可からの変更点っていうの項目出しの時点で、
1:37:31	みんな確かに重量変更っていうのも重量増加だけを意識して分類してるのもあった気がするので、実際減る側を多分ケアをしないとイケないと思いますのでただ、
1:37:44	あれですかね減る側って内数ですっていう説明じゃないんですよね。
1:37:49	網私聞いてもいいですけど、
1:37:51	ですけど
1:37:53	建屋だけの評価だったら内数です。ですけどね、あかん機器があるんで、周期特性が発生すると単純にそれだけの話でもないなという感じがしますね。はい。
1:38:06	はい。ちょっとそういうところも含めて
1:38:09	変更を変更点ってのは当然近隣からの変更点で、何を変更するっていうのがあるかっていうのを当然洗い出した上で、それが今後説明する項目になったりもしますので、そういうことの紐づけをした上で抽出ができるように、かつそれが見える化できるようにさせていただきたいと思います以上です。
1:38:29	はい、規制。
1:38:34	さっきの話だとこれからまた変更点その改造も含め後は、
1:38:39	評価的なところも含め、拾いに行くっていうことなんですけど、真面目にやると、悩ましいところが出てくるような気がするので、
1:38:51	随時、認識を確認いただければと思いますけど、そういう時に思った。
1:38:58	何らかの場で話をしてもらえればと思います。以上です。
1:39:04	はい。日本のハラダで承知いたしました。
1:39:11	規制庁驚見です。パッと。
1:39:14	規制庁側から確認でございますでしょうか。
1:39:22	よろしければ、原燃側からFLIP、この資料について振り返りとまた明日の朝のヒアリングで状況を聞くとは思いますが、ほかに。
1:39:32	この対応について説明をお願いします。
1:39:38	はい。日本のタナカです。
1:39:40	こちらの対応としましてはまず一つ目としてはそのリストの番号の確認というところをちょっと全然できてなかったところそこはしっかりやれるような方法を考えてしっかり対応させていただきたいと。

1:39:50	思っております。それとあと工事の数の数え方について、抜けがないかというところを、やはり工事要領書をベースにちゃんと網羅的に全体像を押さえて、数えましょうと。
1:40:03	いうところをもうちょっとこちらの方、精査させていただきたいと思えます。あと、数の考え方につきましては、
1:40:11	まず物ですね収納管とかそういうものの数え方とかルールを決めて、ちょっと改めてこちらの方、数量の方に反映させていただきたいというふうに思います。
1:40:21	と、いろいろな作業が並行でやって、走っているというような状況にありますんでそれぞれ目的意識を持ってちゃんと作業をやるというのを各作業の方の方にちょっとこちらの方展開したいと思っております。
1:40:34	それ、あと、リストの方だとどうしても名称が同じものが重なってしまうというところがありますので、識別の仕方備考欄を使うとかそういうところについては、ちょっとこちらの方で、考え方を定めて、資料を修正して、
1:40:49	どうやったかというのをご説明させていただきたいと思えますと、
1:40:53	S Aの評価のところでは固縛の話がありましたのでそちらの方は、固縛対象として、コンテナとしてまとめてゴバクするものなのかどうかとかそういうところを整理して、資料の方に反映させていただきたいと思えます。
1:41:06	あと、数量ゼロのものが実質に登場しているというのが、こちらの方は、削除するというのと、冷却塔へ残っているものの扱い、こちらの方をちょっと整理、
1:41:16	する人があるというふうに認識しました。
1:41:18	以上でございます。
1:41:22	規制庁、清水です。
1:41:25	ただいまの説明について規制庁から、
1:41:28	ございますでしょうか。
1:41:31	規制庁カミデです。
1:41:33	この振り返りって話でもないんですけど、
1:41:38	今やっているのは、登場人物の整理みたいなところで、変更点とかも含めて、どんな
1:41:46	申請内容のほか、
1:41:49	それを、
1:41:52	どう見ていけばいいのかなっていう、

1:41:55	骨格がだんだん、
1:41:56	見せて、骨格をだんだん見せていこうという段階だと思うんですけど。
1:42:03	それが本当かよっていうところがあって、耐震でいうと波及的影響の補足説明早くやった方がいいんじゃないのと。
1:42:12	じゃないと波及で幾つありますって言うてるのが、
1:42:17	ようやく設備リストとはようやく整合はとれそうですけどね。本当に、
1:42:23	実態として、それでいいのかっていうところは、
1:42:27	確認できないし、
1:42:29	それ以外にも、耐震の方で、
1:42:34	近隣課からの変更点というのは、補足説明がもともとあって、網羅的に、
1:42:41	出してくださいってそれ一の資料を早く出して欲しいと言って、
1:42:46	五つ、
1:42:48	まだスケジュールも示されていないと。
1:42:50	いう状況なんですけど。
1:42:53	そろそろ、
1:42:55	登場人物 I I がある程度整理される等その、
1:43:02	バックデータを固めてまたさらに、
1:43:06	2 ポツの方に進めって言うんですかね、具体がだんだん進んでいくっていう、
1:43:11	けど、
1:43:12	事業者っていうのは、全体の工程感というかスケジュール感、どういふふうに考えてます。
1:43:27	はい、二本木仁科でございます。はい。耐震に限らず、それぞれ補足であつたり 0 より説明すべきことを 1 ポツだったり、2-1 だったり乾だつたりという分類をして、
1:43:41	耐震特に耐震については既認可の変更点であつたりというのは 1 としてカウントして、
1:43:51	内部の方を高木早くスタートしなきゃということでお話をさせていただいたとは認識をしております。
1:43:59	あとはその通りのスケジュールも出せてないのも認識をしまして、全体的には順番にやるということは変えてませんので、そういったことをスケジュールに落として、
1:44:12	やらないといけないということで、これスケジュール次いつ示すと。

1:44:19	まだあなたたち出してない、まだね。
1:44:22	もう駄目でしょでも審査会合まで来て、
1:44:27	審査会合の前にはないと次お前ら一体その次の1ヶ月何するんだって話にもなるので、ちょっとすみません、至急スケジュールに落としたものを示させていただきます少なくとも
1:44:39	それぞれ1年ボックスニノイチのボックスに何が入るかは、この間の流れの中で整理をして、
1:44:46	かつスケジュールを出した時にそれが1じゃないのかっていう話もさせていたでいたのも認識をしてますので、そういったことが順番にちゃんとスケジュールに落とし込まれていくという絵姿を、
1:44:57	大分前にもおっしゃっていただいた形は、1日2日先しか見えてませんねっていう状態にまだなっていると思っておりますので、1ヶ月先、少なくとも見通せるスケジュールを
1:45:09	ちゃんと書けるように、
1:45:10	スカウト審査会合の前には出さないと、私も辛い気はしますので、対応させていただきます。こんな状況でよく1年って言ったなっていう、言われるのは十分承知の上です。はい。以上です。
1:45:23	はい。規制庁カミデです。
1:45:27	今は介護に向けて、毎日午前中朝、ヒアリングしてみたいな感じで、本当目の前の対応だけですけども、
1:45:37	そろそろ正常がああ会合、
1:45:40	後どうなるのかっていうのは、なるべく正常化した方がいいと思うので、示してください、ようやく
1:45:49	工事どんなものがあるのかっていうのも大体把握されたような気がしますし、耐震の今日もどうぞお話ししましたけど、評価っていう観点で変わってるものもあるから、
1:46:00	そうすると、まず藤堂の花シーンをした方がいいねとか、波及の補足説明を把握っていうのも、だんだん見えてくる段階だと。
1:46:11	思うので、そのあたり
1:46:14	まずスケジュールでもので出すっていう、
1:46:17	よりは何か悩ましいところまたAsanoヒアリングとかでも言ってもらえればいいんですけど
1:46:23	こういうところで一緒に進められるのかとか、ここは順番がどうかみたいなのがあればまた話をしてもらえれば、
1:46:31	思いますので、

1:46:33	その辺り検討も進めて、適宜、悩ましいところは話をしてください。以上です。
1:46:41	はい。宮城西田でございます。はい。承知いたしました。
1:46:47	規制庁清水です。他は全体を通して規制庁側から委員でございますでしょうか。
1:46:54	ないよ、全然は思います。特段よろしいでしょうか。
1:47:05	はい。事務局仲間です。はい。県側からは特にございません。
1:47:11	ありがとうございました。
1:47:14	シミズそれではこれでヒアリングを終了したいと思いますので録音を提出し、